

令和5年度事業報告

令和5年度の事業は、事業計画に基づき、次のとおり実施しました（下線部は本年度の特記事項です。）。

1. 積極的な各種活動と情報の発信、組織運営の透明化

令和5年6月の第12回定時社員総会の直前に、前会長であるJG1KTC高尾義則氏が突然辞任届を提出し、社員総会当日の午前中に開催された第66回理事会において、高尾氏を会長から解職する決議が成立するという前代未聞の事態が発生しました。年度の途中で会長に就任したJA5SUD森田耕司は、基本方針として新たに「積極的な各種活動と情報の発信」及び「組織運営の透明化」を2本の柱に掲げ、組織の活性化と信頼回復を進めるべく、以下の施策を進めました。

- （1）社員総会速記録の復活と迅速な公開、社員からの準備書面（事前質問）に対する書面での回答とJARL Webでの公表など、社員総会の情報公開を進めました。
- （2）理事会報告に各理事の賛否の明記、詳細な意見の記載、委員会報告の公表等、執行部による意思決定の公開を進めました。
- （3）社員有志から公開請求のあった過去7年間の会計帳簿の開示に応じました。また、会計帳簿の分析結果から判明した前会長の業務執行の問題をとりまとめた社員有志による「前会長・高尾執行部に関する報告書」を検討の上、第71回理事会においてこれを正しいものとして承認し、JARL Web等を通じて公表、周知しました。
- （4）8月に開催されたハムフェア2023では、来場できない方のために、ステージのオンライン配信を行いました。
- （5）2月に告示された令和6年通常選挙において、有権者の判断材料として、新たに立候補者の選挙公報の詳細版と推薦人一覧を公表することとしました。また、無投票当選者の選挙公報と推薦人一覧も併せて公表しました。
- （6）恣意的な判断で行っていた慶弔金の支出基準を見直し、新たに役員に対する慶弔内規を定めました。
- （7）社員総会当日に社員からの準備書面に対する回答を口頭で答弁することを改め、回答を社員総会開催日までにJARL Webに公開することとしました。

2. アマチュア無線活動の推進

アマチュア無線活動を推進していくための最適な情報の提供をはかるとともに、次の事業を推進しました。

（1）アマチュア無線に関する制度改善と周知

- ① 令和5年3月22日および同年9月25日に電波法施行規則等の一部の改正が施行されました。この制度改正により、ワイヤレス人材育成の裾野を広げるための、アマチュア無線の体験機会や活用機会の拡大、デジタル化の推進、免許手続の迅速化や制度の簡素合理化による申請者の負担軽減や申請処理期間の短縮等がより一層進めることができるようになりました。

今回の制度改正の内容をJARL NEWSで詳しく伝えとともに、記事をまとめたパンフレットを制作してハムフェアをはじめとした各地のイベント会場などで配布し、また、JARL WebやJARLメールマガジン、その他のアマチュア無

線関連の媒体において制度改正の周知広報に努めました。

- ② 体験運用の推進、青少年のアマチュア無線を通じての科学技術への興味を深めるきっかけとなる活動を行い、将来のアマチュア無線を牽引する若い世代の育成を目指し、「体験運用推進・ニューカマー支援委員会」を立ち上げ、体験運用のマニュアルを作成し Web に公開しました。各地で実際に行われる体験運用を通して新たなアマチュア無線愛好家の輪が広がるよう様々な支援を行いました。
- ③ WRC-23 に向けて、アジア太平洋通信共同体 (APT) の共同見解及び共同提案を策定する APT-WRC 準備会合・第 6 回会合 (APG23-64) が令和 5 年 8 月 14 日から 19 日までブリスベン (オーストラリア) において対面とリモート会議を併用したハイブリッド会議で開催され、両会合に政府代表団の一員として職員 1 名がリモート参加し、アマチュア無線関連議題の検討に参加しました。
- ④ ITU (国際電気通信連合) の無線通信部門 (ITU-R) でアマチュア無線関係の議題を審議する WP5A が令和 5 年 9 月 13 日から 22 日までジュネーブ (スイス) で、対面とリモート会議を併用したハイブリッド会議で開催されました。この会合に政府代表団の一員として職員 1 名が現地参加し、アマチュア無線関連議題の検討に参加しました。
また、世界無線通信会議 (WRC-23) が令和 5 年 11 月 20 日から 12 月 15 日まで、アラブ首長国連邦ドバイで 3,000 名以上が参加して開催され、無線通信規則の改訂について審議が行われました。政府代表団の一員として職員 1 名が一部日程に参加し、アマチュア無線関連議題の審議に参加しました。
- ⑤ 免許手続の一層の簡素化、国際的なアマチュア無線制度との整合等について総務省と日常的な意見交換を行いました。

(2) アマチュア無線活動の活性化

- ① アマチュア無線の周知啓発をはかるため、各地でアマチュア無線に関する各種講習会および研究会などを開催しました。ハムフェアや各地方本部で開催される地方広域ハムフェア、各支部で開催される支部大会・ハムの集いなどがコロナ前のように開催されるようになり、各催事において、地域の皆様とアマチュア無線の楽しさ・魅力を共有する活動がなされました。
- ② ハムフェア 2023 は、令和 5 年 8 月 19 日・20 日の 2 日間、東京・有明の「東京ビッグサイト」にて、「さあ行こう！アマチュア無線の新時代」をキャッチフレーズに開催いたしました。来場者は延べ 43,000 名でした。この主な催事では、クラブやビジネス団体の展示や販売、特別記念局 8J1HAM の運用、工作教室、DXCC デスク、JARL デスクなどを設置しました。イベントコーナーでは、各種講演、自作品コンテストの総務大臣賞の表彰式など多彩な催しをおこないました。JARL 特設ブースでは、青少年・ビギナーの方々を中心にアマチュア無線について何でも相談できるニューカマー相談コーナーを設置し、アマチュア無線に関しての質問や相談に応じ、また、アンテナ&特別記念局見学ツアー「ハムフェア 2023、アンテナがすごい！」をテーマに見学ツアーを 6 回実施し、会場の外に設置したタワーとアンテナ、8J1HAM 特別記念局、8J1RL ブースを巡り、2 日間で約 80 名の方が参加しました。主に青少年向けに、体験運用をはじめとした新制度の広報や実際の交信体験などアマチュア無線への強い関心を引き出すこと、基礎的な楽しみ方などを紹介することを目的とした特別催事を実施しました。各クラブによるクラブブースも活況を呈しました。

- ③ モーリス電信技能認定は、審査と認定証の発行を行いました。
- ④ コンテストは、**別表 2**のとおり 6 種類実施し、コンテスト・アワードの発行やコンテスト参加記念楯制度を推進しました。
また、JARL Web のコンテストのページからダウンロードできる「コンテスト参加証」についても、多くの参加局にご利用いただいています。
開催期間を延長している QS0 パーティも、熱心な方々に多数ご参加いただき、開催期間延長前と比べ約 20%参加者が増加しました。
- ⑤ アワード発行は、**別表 3**のとおり国内アマチュア局 1,053 枚、SWL16 枚、海外アマチュア局 138 枚の合計 1,207 枚の発行となりました。
また、D-STAR アワードは全賞あわせて 10 枚を発行しました。なお、JARL アワードマスターは、9 件の認定証を発行しました。WAC アワードの代行申請を 77 件行いました。
DXCC フィールドチェックについては、今年開催されたハムフェア会場でのチェックとあわせて、507 件の申請を受け付けました。
- ⑥ 「よみうりアワード」を継承したアワードとなる「JARL 全日本 10,000 局」アワードは全賞あわせて 5 枚、「JARL 全世界 10,000 局」は全賞あわせて 7 枚を発行しました。また、ハムフェア 2023 の会場において、令和 4 年度に本アワードを発行した 8 名の方の総務大臣賞の授与式を行いました。
- ⑦ レピータ局およびビーコン局は、**別表 4**のとおり開設・運用しました。
- ⑧ D-STAR レピータは、レピータ局のゲートウェイを介した海外接続を継続し、利用動向および改善点などの検討や情報収集を行いました。
- ⑨ D-STAR ユーザー局は、引き続き管理サーバーへの登録と IP 付与を行いました。
- ⑩ 特別局・特別記念局は、**別表 5**のとおり開設・運用しました。
- ⑪ 全日本 ARDF 競技大会は、令和 5 年 10 月 22 日（宮城県白石市内）に開催し、101 名の参加がありました。また、地方 ARDF 競技大会は、**別表 6**のとおり開催しました。
- ⑫ ARISS（国際宇宙ステーション上のアマチュア無線）プロジェクトへの支援・援助を引き続き行いました。また、2023 年の ARISS 国際代表者会議は令和 5 年 4 月 18 日から 20 日にわたって ESA 欧州宇宙機関の ESTEC（オランダ、ノールトウェイク）で開催されました。日本から 3 名（うち JARL1 名）が参加し、今後の活動計画等の検討を行いました。さらに、2024 年の同会議は、宇宙飛行士との交信 40 周年記念会合と併せて令和 6 年 2 月 20 日から 24 日に NASA ケネディ宇宙センター（米国フロリダ州）で開催され、日本から 7 名（うち JARL1 名）が参加しました。
- ⑬ 令和 5 年 11 月 12 日、JARL（JA1RL 中央局運用委員会）では、アマチュア無線初心者向けのニューカマーセミナーを開講しました。
- ⑭ CQ 出版が主催した「体験運用の日」を後援しました。全国各地で体験運用が実施され、併せて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が開催した、アマチュア無線を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し相互理解と親交を深めることを目的にした公式国際行事のイベントにおいて、当連盟が全面的に協力し体験運用を通じた次世代育成支援に取り組みました。

（3）アマチュア衛星など宇宙通信の促進

- ① 「ふじ 3 号（FO-29）」は、平成 8 年 8 月 17 日に打ち上げて以来長寿命を保っています。経年変化等による不安定な運用が続いていますが、安定運用を目指し

試験等を継続しています。

- ② 大学や団体などが打上げを計画している小型アマチュア衛星の開発や運用に対し、協力を行いました。

3. 電波環境のクリーン化と混信妨害の防止

日本では既に2億9,198万の無線局が開設（令和4年情報通信白書）され、新しい多様な電波利用へのニーズにより周波数需要が極めて逼迫していることから、新たな電波利用システムの開発・実用化の動向を注視するとともに、アマチュア無線への混信妨害が発生することがないように対応しています。

（1）電波利用の秩序維持

- ① 侵入電波の排除、違法・不法局の取締りなどの電波環境のクリーン化については、国への要望やアマチュア局からの電波障害対策相談への対応を行いました。
- ② アマチュア局の運用指導、電波障害防止対策の指導などを実施しました。
- ③ アマチュア局が原因で障害を受けている一般の方々からの電波障害対策への対応を行いました。
- ④ アマチュア局が受けるノイズ障害が多様化しており、それらについて情報収集を行いました。特にインバータを使用する給湯器や太陽光発電システム、照明機器などの機器からのノイズ障害が近年増えているため、関連機関とも連携しノイズ障害の対策と防止に努めました。
- ⑤ ガイダンス局（特別業務の局）により、使用区別を逸脱（レピータ、衛星周波数を含む）している局、コールサインの送出が全くない局および業務通信を行っている局に対して、注意を喚起する電波による広報を行いました。

なお、各地方の総合通信局の電波規正局と連携し、東海4回、関西1回、四国2回、九州1回、東北1回、北海道2回、北陸1回の注意喚起の広報活動を行いました。

- ⑥ 告示の改正を踏まえた新しいバンドプランの周知用印刷物を制作・配布するとともに、違法・不法局撲滅のための広報活動を行いました。

（2）電波環境のクリーン化

- ① 160m バンドおよび HF ローバンドの侵入電波については、会員からの情報提供の協力を得て、総務省、IARU などの関係機関に報告しその対応を要請しました。
- ② HF 帯のアマチュアバンドに侵入する海外の局からの侵入電波の排除をはじめ、V/UHF 帯のアマチュアバンドに出没する違法・不法局の取締り強化について、総務省へ要請しました。
- ③ JARL Web の「各総合通信局による不法無線局の取締り状況」のページにおいて、総務省の各地方総合通信局による違法局・不法局の取締り状況などの情報を掲載しました。
- ④ 関東総合通信局三浦電波監視センターより、デジタル文字通信（FT8 等）の運用に当たってはオフバンドや指定を受けていない周波数での運用をしないよう留意することの呼びかけがあったため、JARL Web やメールマガジン等で周知を行いました。

（3）電波環境に関する対応

電波利用環境問題については、電波環境関連の会合に出席し情報収集とその対応

を検討するなど電磁環境問題に積極的に取り組みました。

4. 会員事業の推進

会員組織である当連盟の組織基盤強化のために、次のとおり会員事業を推進しました。

(1) 会員へのサービス事業の推進

- ① アンテナ第三者賠償責任保険は、7,985 件の加入がありました。また、雷事故補償保険、傷害補償保険に加え Web 完結ガン保険の加入受付を開始した他、家電製品の割引の他、ホテル宿泊、パッケージ旅行、海外格安航空券、引越料金サービス、通信講座受講料や書籍の割引制度などの会員特典の充実に努めました。
- ② 会員への有益な情報をいち早く伝えるため、JARL Web のコンテンツの更新に努めました。
- ③ 正員と家族会員、及び社団会員が「コールサイン@jarl.com」で利用している E メール転送サービス利用者数は、令和 6 年 3 月末現在 30,325 件となりました。
- ④ 会員在籍表彰として、JARL に長年継続して在籍されアマチュア無線の向上と連盟事業の発展に寄与された会員の方々を表彰し、対象の皆様にはマイページより表彰状をダウンロードしていただきました。

(2) QSL・SWLカードの転送

- ① カードの取扱処理枚数は別表 7 のとおり、国内外合わせて月平均約 70 万枚の円滑な転送に努めております。
- ② コロナ禍や FT4・FT8 などの急激な普及により約 500 万枚の滞留が発生しており遺憾に思っております。11 月には、QSL カード転送遅延の解消のため「発行枚数見直し」へのご協力を呼びかけさせていただいた結果、到着枚数は着実に減少しております。新たに設置した QSL 問題対策委員会において、紙 QSL の円滑な転送や電子 QSL について、幅広く検討を行っています。
- ③ カードの発送は、郵便と佐川急便を利用しての発送ですが転送経費のより一層の効率化に努めました。
- ④ QSL ビューローからの転送カードの発送完了日を JARL Web 上で広報に努めました。

(3) 広報活動

会員および一般の方から、インターネットを活用した情報公開が強く望まれるなか、JARL のインターネット・ホームページやメールマガジンの配信などをとおして、情報の迅速かつ詳細な提供を行いました。

- ① JARL NEWS を年 4 回季刊発行し、連盟からのお知らせを始め、各地方本部、各支部、クラブの情報、その他を掲載しました。また、電子版 JARL NEWS を制作し、JARL Web の会員専用ページから会員の皆様に利用していただきました。
- ② CQ 出版社の協力で、毎月発行されている CQ ham radio 誌のうち巻末 16 ページを「FROM JARL」として、最新情報や地方本部・支部事業の情報を掲載し、JARL NEWS の補完として情報提供に努めました。
- ③ JARL Web により最新情報の提供や結果報告などを積極的に行うとともに、JARL メールマガジンを毎月 2 回配信し、最新情報の提供を行いました。メールマガジンの配信数は令和 6 年 3 月末現在 32,658 件となっています。また、最新の

「会員手帳」を会員の方々に閲覧いただけるよう、PDF化した「会員手帳」の閲覧サービスを行っています。

- ④ アマチュア無線に興味を持った方へその魅力や社会に貢献することをPRするイラストを多用したパンフレット「アマチュア無線ってどんなもの？」を作成し、各種のイベントで配布するとともに、JARL Webからもダウンロードできるようにしました。
- ⑤ これからアマチュア無線を始めようとしている方や無線従事者免許を新たに取得した方々のために、パンフレットや小冊子などを各地方本部、支部、クラブ等のイベントなどで配布しました。

(4) 関連団体との連携

- ① 当連盟、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会（JARD）、日本アマチュア無線機器工業会（JAIA）、CQ 出版株式会社の4者による会議体「アマチュア無線継続的発展会議（SD 会議）」を発足させ、アマチュア無線の継続的発展に向けた具体的取り組みと協力体制について検討を行っています。
- ② アマチュア無線家の育成や正しい運用については、JARD と協力して周知・啓発などの推進をはかりました。
- ③ JARD、JAIA の協力を得て、ビギナー向け小冊子「スタート！ ハムライフ」ほかの配布を行いました。

5. 非常災害時への態勢整備

災害時に備え、つぎの対応を行いました。

- ① 非常災害の発生に備えて、可搬型発電機の保管や事務局内に各種防災用品などの整備を行いました。
- ② 「非常通信に関する基本方針ならびに非常通信実施要領」にもとづき、地方自治体と JARL 支部との災害協定締結を積極的に推進しました。また、「アマチュア局の非常通信マニュアル」を引き続き周知するとともに、啓発活動を行いました。
- ③ 1月1日の能登半島地震の発生を受け、当日中に非常通信の聴取等と呼びかけるアナウンスを JARL Web に掲載しました。また、北陸地方本部と事務局が連絡を取り、要請あり次第支援を行えるよう準備を整えましたが、無線機の貸出等には至りませんでした。

6. 青少年へのアマチュア無線活動の支援と身体障がい者への援助・協力

(1) 青少年のアマチュア無線活動への周知・支援

青少年へのアマチュア無線活動の周知・支援について、各地方本部および支部や関連団体との連携をはかりながら、多数の事業を実施し積極的に進めました。

- ① 青少年がアマチュア無線の楽しさや宇宙開発、通信技術への興味をかきたてる貴重な体験に触れるため、昨年に引き続き、ARISS スクールコンタクトを協力推進し、国際宇宙ステーション内の宇宙飛行士と交信を行いました。（令和5年度内は1件）
- ② 次世代にアマチュア無線を継承する青少年（22歳未満の正員または准員）への助成を行い、新規入会者193名の申請を受付けました。
- ③ 学校などの団体が開設する社団局への助成制度により、中学校や高等学校等49校に助成をおこないました。
- ④ 例年実施していた5月5日のこどもの日にあわせ、南極昭和基地に開設された

JARL 南極局 8J1RL と、日本国内の小・中・高校生を優先して交信をおこなう「こどもの日」の特別運用を実施しました。

- ⑤ 2023 年 10 月 27 日～29 日にタイのパタヤ市で開催された「IARU Region 3 YOTA Camp」に一般社団法人 Youngsters on the Air Japan (YOTA Japan) の推薦を受けた若者 2 名を JARL からの参加者として同 Camp に派遣し、同 Camp の多様なプログラムを体験してもらいました。

(2) 身体障がい者に対する援助・協力

身体障がい者のアマチュア無線活動を充実したものとするため「点字 JARL NEWS」を発行してアマチュア無線関連情報の周知に努めました。

7. 国際協力の推進

- ① ハムフェア 2023 では、韓国 KARL とマレーシア MARTS の両連盟の出展がありました。
- ② JARL 事務局内に引き続き IARU 第 3 地域事務局を設置し、活動を支援しました。
- ③ IARU Reg. 3 に対し、引き続き STARS (アマチュア無線発展途上国の支援) タスクフォースの援助および侵入電波監視報告を行いました。
- ④ IARU の国際ビーコン・プロジェクトを継続して行いました。
- ⑤ IARU HF チャンピオンシップコンテストに関しては、参加する連盟本部局 (HQ 局) を公募し、7 局が参加しました。
- ⑥ アメリカのデイトン・ハムベンションやドイツのハムフェア「HAM RADIO」に JARL ブースを出展し、JARL の紹介と、各国アマチュア無線家との友好親善をはかりました。
- ⑦ 来日する及び日本在住の相互運用対象国のアマチュアの日本免許取得の支援を行いました。
- ⑧ 第 21 回 IARU 世界 ARDF 選手権大会が令和 5 年 8 月 27 日から 9 月 2 日、チェコ共和国リベツ市において 28 カ国から 354 名の選手が参加し開催されました。日本からは 15 名の選手が参加し、外国の参加者と積極的に交流し、国際友好親善の推進に努めました。

8. 会員拡充への取り組み

会員数は、別表 1 のとおり令和 6 年 3 月 7 日現在、正員 50,948 名、社団会員 1,288 名、家族会員 1,018 名、准員 11,481 名の合計 64,735 名で、遺憾ながら前年同月比の会員数は 1,183 名の減少となりました。

旧会費前納者の方々を対象としたライフメンバー制度の利用は、令和 6 年 3 月 7 日現在、ライフメンバー会費 (JARL NEWS と QSL 転送) 2,144 名、QSL 転送 3,290 名が登録されております。

個人の方を対象とした賛助会員は、178 名の方から加入申出があり、アマチュア無線活動の活性化と財政改善への支援をいただいております。

会員組織である当連盟の組織基盤強化のために、上記の各施策のほか、以下の活動に取り組みました。

- ① 各地方本部・支部が主体となって会員増強企画を立案し、それぞれの地域で独自の増強活動を実施していますが、令和 5 年度においては 2 地方本部、17 支部

23 件の増強企画が実施されました。

- ② 22 歳未満の青少年を対象としたお試し入会キャンペーンや 22 歳以上を対象としたニューカマーキャンペーンを継続しました。
- ③ QSL ビューローに到着した QSL カードのうち、一定枚数以上の QSL カードが交信相手から届いているにもかかわらず、JARL に入会されていない方へ入会案内を送付し、入会促進を行いました。
- ④ 会員の増加をはかるため、JARL、JAIA などと協力してパンフレット等を配布し、アマチュア無線の普及と会員増強に努めました。また、各種イベントや会合、支部からの要請等により、アマチュア無線に関するパンフレット類を配布しました。
- ⑤ 会員サービスの向上と JARL 会費受付業務代行店の活性化を目指し、代行店の愛称（「フレンドリーショップ」）を印刷したステッカーを配布しました。
- ⑥ JARL、代行店、アマチュア無線機器関連メーカーの三者協力により、無線機を購入した会員にフレンドリーショップで利用できるクーポン券をプレゼントする「JARL フレンドリーショップ会員ありがとうキャンペーン」を前年度に引き続き実施しました。

以上のほか、つぎの活動を行い円滑な事業の推進に努めました。

- ① 理事会、各種委員会、地方本部・支部行事などを別表 8 のとおり開催しました。
- ② 会員局名録の発刊のほか、資格別門標板、アマチュア無線関係の申請書類・グッズなどを頒布しました。

以上

別表 1

エ リ ア 別 会 員 数

(令和6年3月7日現在)

会員	関東	東海	関西	中国	四国	九州	東北	北海道	北陸	信越	合 計
正 員	19,274	6,349	6,706	3,042	1,645	3,935	3,876	2,459	1,250	2,412	50,948
社団会員	460	157	150	88	43	87	116	69	66	52	1,288
家族会員	369	138	110	54	43	82	86	71	17	48	1,018
准 員	3,971	1,497	1,564	877	348	820	945	475	373	611	11,481
合 計	24,074	8,141	8,530	4,061	2,079	4,924	5,023	3,074	1,706	3,123	64,735
令和5年3月比 増 減	-390	-120	-190	-59	-26	-70	-137	-95	-34	-62	-1,183

正 員 エ リ ア 別 増 減

(令和6年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和5年3月	20,008	6,610	7,026	3,167	1,709	4,071	4,085	2,578	1,323	2,512	53,089
令和6年3月	19,274	6,349	6,706	3,042	1,645	3,935	3,876	2,459	1,250	2,412	50,948
増 減	-734	-261	-320	-125	-64	-136	-209	-119	-73	-100	-2,141

社 団 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和6年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和5年3月	470	160	156	94	43	93	119	76	66	57	1,334
令和6年3月	460	157	150	88	43	87	116	69	66	52	1,288
増 減	-10	-3	-6	-6	0	-6	-3	-7	0	-5	-46

家 族 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和6年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和5年3月	404	149	118	60	43	83	94	75	19	53	1,098
令和6年3月	369	138	110	54	43	82	86	71	17	48	1,018
増 減	-35	-11	-8	-6	0	-1	-8	-4	-2	-5	-80

准 員 エ リ ア 別 増 減

(令和6年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和5年3月	3,582	1,342	1,420	799	310	747	862	440	332	563	10,397
令和6年3月	3,971	1,497	1,564	877	348	820	945	475	373	611	11,481
増 減	389	155	144	78	38	73	83	35	41	48	1,084

別表 2

コンテスト実施状況

(令和5年4月～令和6年3月)

部門種目など	シングルオペ							マルチオペ			書類提出 局合計	賞状数
コンテスト名	オール バンド	シングル バンド	ニュー カマー	シル バー	QRP	D-STAR	SWL	オール バンド	2波	ジュニア		
ALL J A コンテスト	611	952	5	195	-	-	11	64	20	13	1,871 (1,932)	277
6m&Down コンテスト	507	793	15	176	138	14	11	80	-	5	1,739 (1,735)	280
フィールド デー コンテスト	471	629	10	148	126	-	11	70	19	12	1,496 (1,652)	220
ALL ASIAN DX コンテスト	電信部門 (国内) 522 (外国) 1,128										1,650 (1,726)	449
	電話部門 (国内) 390 (外国) 676										1,066 (1,073)	351
全市全郡 コンテスト	618	885	16	171	-	-	9	69	12	8	1,788 (1,885)	298
QSO パーティ	交信部門 8,379 受信部門 292										8,671 (8,994)	8,612
合 計											18,281 (18,997)	10,487

()内は令和4年度の数字を表します。

別表 3

アワード等の発行状況

1. アワード発行数

(令和5年4月～令和6年3月)

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
A J D		124	1	45	170
W A J A		99		39	138
H A J A			3	0	3
J C C	1 0 0	52	0	10	62
	2 0 0	40	1	9	50
	3 0 0	36	1	3	40
	4 0 0	20	1	2	23
	5 0 0	30	1	1	32
	6 0 0	37	1	3	41
	7 0 0	18	1	1	20
	8 0 0	17	0	1	18
小 計		250	6	30	286
J C G	1 0 0	32	0	3	35
	2 0 0	14	0	2	16
	3 0 0	16	0	0	16
	4 0 0	5	0	0	5
	5 0 0	5	0	0	5
小 計		72	0	5	77
A J A		8	0	0	8
1 0 M H z	1 0 0	5	0	2	7
	2 0 0	4	0	0	4
	3 0 0	4	0	0	4
	4 0 0	5	0	0	5
	5 0 0	5	0	0	5
	6 0 0	4	0	0	4
	7 0 0	2	0	0	2
	8 0 0	3	0	0	3
	9 0 0	2	0	0	2
	1 0 0 0	9	0	0	9
小 計		43	0	2	45
1 8 M H z	1 0 0	6	0	4	10
	2 0 0	11	0	0	11
	3 0 0	9	0	0	9
	4 0 0	8	0	0	8
	5 0 0	6	0	0	6
	6 0 0	5	0	0	5
	7 0 0	4	0	0	4
	8 0 0	5	0	0	5
	9 0 0	4	0	0	4
	1 0 0 0	16	0	0	16
小 計		74	0	4	78
2 4 M H z	1 0 0	6	0	1	7
	2 0 0	7	0	0	7
	3 0 0	9	0	0	9
	4 0 0	5	0	0	5
	5 0 0	5	0	0	5
	6 0 0	4	0	0	4
	7 0 0	3	0	0	3
	8 0 0	3	0	0	3
	9 0 0	3	0	0	3
	1 0 0 0	7	0	0	7
小 計		52	0	1	53
W A R C - 1 0 0 0		11	0	1	12
1 3 5 k H z 1 0 ~ 1 0 0		0	0	0	0
4 7 5 k H z 1 0 ~ 1 0 0		0	0	0	0

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
50MHz	100	5	0	2	7
	200	1	0	0	1
	300	1	0	0	1
	400	3	0	0	3
	500	0	0	0	0
	600	1	0	0	1
	700	0	0	0	0
	800	0	0	0	0
	900	0	0	0	0
	1000	2	0	0	2
小計		13	0	2	15
144MHz	100	3	0	0	3
	200	2	0	0	2
	300	2	0	0	2
	400	2	0	0	2
	500	3	0	0	3
	600	0	0	0	0
	700	1	0	0	1
	800	1	0	0	1
	900	1	0	0	1
	1000	3	0	0	3
小計		18	0	0	18
430MHz	100	10	0	0	10
	200	4	0	0	4
	300	2	0	0	2
	400	1	0	0	1
	500	1	0	0	1
	600	0	0	0	0
	700	1	0	0	1
	800	2	0	0	2
	900	1	0	0	1
	1000	2	0	0	2
小計		24	0	0	24
1200MHz	10	3	0	0	3
	50	0	0	0	0
	100	1	0	0	1
	200	1	0	0	1
	300	0	0	0	0
	400	1	0	0	1
	500	0	0	0	0
小計		6	0	0	6
2400MHz 10~500		0	0	0	0
5600MHz 10~500		0	0	0	0
10GHz 10~500		0	0	0	0
24GHz 10~500		0	0	0	0
47GHz	10	1	0	0	1
	50~500	0	0	0	0
小計		1	0	0	1
75GHz 10~500		0	0	0	0
V・U	1000	4	0	0	4
	2000	1	0	0	1
	3000	1	0	0	1
	4000	4	0	0	4
	5000	3	0	0	3
	6000	0	0	0	0
	7000	0	0	0	0
	8000	1	0	0	1
	9000	1	0	0	1
	10000	3	0	0	3
小計		18	0	0	18

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
WACA		34		0	34
HACA			0	0	0
WAGA		26		0	26
HAGA			0	0	0
ADXA		20	0	3	23
ADXA-HALF		21	0	1	22
WASA	V・U・SHF	6	0	0	6
	H F	13	0	0	13
HAC			5	0	5
アマチュア衛星「ふじ」		1	1	2	4
JARL-Station	J 賞	51	0	2	53
	A 賞	18	0	1	19
	R 賞	16	0	0	16
	L 賞	8	0	0	8
W A K U		26	0	0	26
合 計		1,053 (1,022)	16 (9)	138 (90)	1,207 (1,121)

()内は令和4年度の数字。以下同じ

2. ステッカー発行数

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
JCC	1 5 0	4	0	2	6
	2 5 0	1	0	2	3
	3 5 0	3	0	2	5
	4 5 0	2	0	0	2
	5 5 0	4	0	0	4
	6 5 0	4	0	0	4
	7 5 0	3	0	0	3
小 計		21	0	6	27
JCG	1 5 0	5	0	0	5
	2 5 0	0	0	0	0
	3 5 0	2	0	0	2
	4 5 0	1	0	0	1
	5 5 0	1	0	0	1
小 計		9	0	0	9
AJA	5 0 0	32	0	0	32
	2 5 0	97	2	0	99
WASA	5 0	64	0	0	64
	1 0 0	405	0	0	405
WARC	1 0 0 0	17	0	1	18
合 計		645 (676)	2 (0)	7 (3)	654 (679)

3. D-STARアワード発行数

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
D-STAR	D 賞	1	0	0	1
	S 賞-100	0	0	0	0
	T 賞	6	0	0	6
	A 賞-100	2	0	0	2
	A 賞 200-800	0	0	0	0
	R 賞-50	1	0	0	1
	R 賞 100-250	0	0	0	0
合 計		10 (9)	0 (0)	0 (0)	10 (9)

4. JARL全日本10,000局アワード

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
JARL全日本	2500	0	0	0	0
	5000	1	0	0	1
	7500	1	0	0	1
	10000	3	0	0	3
合 計		5 (8)	0 (0)	0 (0)	5 (8)

5. JARL全世界10,000局アワード

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
JARL全世界	2500	0	0	0	0
	5000	2	0	0	2
	7500	0	0	0	0
	10000	5	0	0	5
合 計		7 (5)	0 (0)	0 (0)	7 (5)

6. 代行申請数

	W A C	5 B W A C	6 B W A C	合 計
W A C	69 (99)	6 (9)	2 (3)	77 (111)

7. 楯数

W A C A ・ H A C A			W A G A ・ H A G A			合 計		
アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局
7 (7)	0 (0)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (8)	0 (0)	0 (0)

8. Q S Lカードの所持内容証明発行数

21 件

9. DXCCフィールドチェック件数
(ハムフェア2023受付分 95 件含む)

507 件

10. JARLアワードマスター

9 件

別表 4

レピータ局及びビーコン局の運用

(1)レピータ局

区 分	28[MHz]	430[MHz]	1200[MHz]	2400[MHz]	5600[MHz]	10.1[GHz]	合 計
前年度までの数	1	684	325	43	4	3	1060
令和5年度の開設数	-	2	-	1	-	-	3
令和5年度の廃止数	-	12	6	3	-	-	21
合 計	1	674	319	41	4	3	1042

(2)ビーコン局

国際ビーコン計画に基づき、HF帯（14.1MHz、18.11MHz、21.15MHz、24.93MHz、28.2MHzの5バンド）でのビーコンは、平成9年5月18日から運用を開始したものを
含め、50MHz、1200MHz並びに2400MHz及び5600MHz帯のビーコン電波を発射
（一部、停波中。）しています。

令和5年度特別記念局等の開設・運用状況

<特別局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関 東	第72回水郷潮来あやめまつり	05.03.25～05.06.25	8J1AYAME	茨城県潮来市
	JARL関東地方本部アマチュア無線活性化キャンペーン	05.06.01～06.03.31	8J1JARL	東京都豊島区
	南アルプス市制20周年記念	05.04.01～06.03.31	8J1MA	山梨県南アルプス市
	多摩東京移管130周年記念	05.10.25～06.01.31	8J130TAM	東京都八王子市
	千葉県誕生150周年記念事業	05.08.01～06.06.30	8J150CB	千葉県四街道市
	飯能市市制施行70周年記念	05.10.01～06.03.31	8J170HC	埼玉県飯能市
	長生村70周年記念協賛事業	06.01.14～06.06.30	8N1CS70Y	千葉県長生郡
	第48回古河桃まつり	06.03.01～06.04.07	8N1MOMO	茨城県古河市
東 海	春日井市制80周年記念事業	05.04.01～05.11.30	8J2KSG	愛知県春日井市
	岐阜市協賛 岐阜道三まつり	05.04.01～05.04.02	8N23G	岐阜県岐阜市
	沼津市制100周年記念事業	05.04.01～05.07.31	8J2NZ	静岡県沼津市
	JARL東海地方本部・東海4県支部行事	05.04.01～06.03.31	8J2YAA	愛知県名古屋市
	ぎふ信長まつり	05.10.15～05.11.05	8J23G	岐阜県岐阜市
	浜名湖花博20周年記念／浜名湖花博2024	06.03.01～06.06.16	8J2HHH	静岡県浜松市
関 西	奈良市防災意識高揚支援事業	05.01.04～06.01.03	8N3N	奈良県大和郡山市
中 国	2023ひろしまフラワーフェスティバル	05.05.01～05.06.11	8J4FF	広島県三原市
	福山ばら祭2023	04.04.01～05.05.28	8J4ROSE	広島県三原市
四 国	第38回砥部焼まつり	05.03.01～05.04.30	8J5TOBE	愛媛県伊予郡
	南極と交信チャレンジ及び国内のアマチュア無線局と交信体験	05.06.25～06.04.30	8J5TOSA	高知県高知市
	受信環境クリーン月間	05.07.01～05.10.31	8N5CLEAN	愛媛県松山市
	今治ジャズタウン	05.08.01～05.08.31	8N5JAZZ	愛媛県今治市
	第39回砥部焼まつり	06.03.01～06.04.30	8J5TOBE	愛媛県伊予郡

九州	無形民俗文化財等覚寺の松会	05.04.09~05.04.20	8J6MATUE	福岡県京都郡
	博多どんたく港祭り	05.04.29~05.05.05	8J6DON	福岡県福岡市
	2023佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	05.10.31~05.11.30	8J6BAL	佐賀県三養基郡
	奄美群島日本復帰70周年記念	05.11.19~05.12.25	8J670FUK	鹿児島県奄美市
	北九州市市制60周年記念事業	06.01.10~06.02.09	8J60KKC	福岡県北九州市
東北	第40回全国都市緑化仙台フェア	05.04.01~05.06.30	8N7HANA	宮城県仙台市
	郡山市市制100周年を盛り立てる事業	06.01.09~06.12.31	8J7KFC	福島県郡山市
北海道	北海道地方本部8支部発足50周年記念	05.05.01~05.08.31	8J88RL	北海道河西郡
	受信環境クリーン月間	05.09.01~05.10.31	8J8CLN	北海道札幌市
	第74回さっぽろ雪まつり	06.01.06~06.02.11	8J8SSF	北海道札幌市
北陸	令和5年度受信環境クリーン月間	05.10.01~05.10.31	8N9C	福井県大野市
信越	第51回JARL長野県支部大会	05.06.01~05.07.16	8N051S	長野県長野市
	受信環境クリーン月間PR	05.09.23~05.10.31	8N0CC	新潟県糸魚川市

<特別記念局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関東	2023アマチュア無線フェスティバル	05.07.01~05.08.20	8J1HAM	東京都江東区
	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N1HQ	神奈川県南足柄市
東海	第55回東海ハムの祭典	05.04.01~05.09.24	8J2TKI	愛知県名古屋市
	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N2HQ	静岡県浜松市
	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N2HQ	愛知県岡崎市
関西	第27回関西アマチュア無線フェスティバル	05.04.01~05.07.16	8J3XXVII 8N3AND	大阪府池田市
	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N3HQ	兵庫県三木市
中国	QRPデー	05.04.21~05.06.30	8J4VLP	岡山県岡山市
	G7広島サミット	05.05.13~05.05.21	8J4G7S	山口県防府市
九州	QRPデー	05.04.26~05.07.31	8J6VLP	福岡県久留米市
	世界水泳選手権2023福岡大会及び世界マスターズ水泳選手権2023九州大会	05.07.14~05.08.31	8J6SWIM	福岡県築上郡
	特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会	05.09.08~05.10.30	8J6KK	鹿児島県日置市
	第21回西日本ハムフェア	06.01.01~06.03.10	8J6HAM	福岡県京都郡
東北	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N7HQ	宮城県柴田郡
	2023全日本ARDF競技大会	05.08.01~05.10.31	8J7ARDF	宮城県仙台市
北海道	第7回北海道ハムフェア	05.06.23~05.09.24	8J8HAM	北海道河西郡
	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N8HQ	北海道札幌市
	2023 IARU HF World Championship	05.07.01~05.07.09	8N8HQ	北海道旭川市
北陸	QRPデー	05.04.20~05.06.30	8J9VLP	石川県河北郡

別表 6

2023地方ARDF競技大会実施状況

エリア	開催日 (部 門)	クラス別参加選手数																							
		オープン	N09	N00	W12	W15	W17	W19	W21	W35	W45	W55	W65	W70	M12	M15	M17	M19	M21	M40	M50	M60	M70	M75	合計
関 東	11月26日 144MHz帯部門	-	-	2	0	2	-	1	1	0	1	1	0	1	0	6	-	1	6	2	0	6	6	3	39
東 海	10月8日 144MHz帯部門	-	-	-	0	2	-	0	3	0	0	0	0	0	0	1	-	4	3	2	2	2	2	1	22
関 西	11月11日 XV リット競技部門	-	-	-	0	1	-	2	1	0	0	0	0	0	0	2	-	9	3	0	1	2	2	1	24
中 国	-																								
四 国	10月15日 144MHz帯部門	-	-	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	-	0	3	2	0	3	0	4	13
九 州	-																								
東 北	-																								
北海道	-																								
北 陸	10月1日 144MHz帯部門	1	-	-	0	2	-	1	2	1	0	0	0	0	0	1	-	3	6	4	7	5	4	1	38
信 越	5月28日 144MHz帯部門	-	-	-	0	0	-	0	0	0	1	0	0	1	0	1	-	4	6	1	2	7	3	1	27
合 計		1	-	2	0	7	-	4	7	1	2	1	0	3	0	11	-	21	27	11	12	25	17	11	163
		-	(1)	-	(0)	(16)	(3)	(37)	(5)	(3)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(29)	(9)	(185)	(41)	(8)	(18)	(23)	(29)	(5)	(395)

(注1) ()内は、令和4年度の数字を表します。

(注2) W17, M17, N99, N00クラスは、関東地方で開催した独自のクラスです。

2011地方競技大会の参加者数は243人
 2012地方競技大会の参加者数は228人
 2013地方競技大会の参加者数は280人
 2014地方競技大会の参加者数は263人
 2015地方競技大会の参加者数は660人
 (関西は、2015全日本ARDF競技大会に兼ねて実施)
 2016地方競技大会の参加者数は283人
 2017地方競技大会の参加者数は229人
 2018地方競技大会の参加者数は200人
 2019地方競技大会の参加者数は187人
 2020地方競技大会の参加者数は24人
 2021地方競技大会の参加者数は29人
 2022地方競技大会の参加者数は395人

QSL・SWLカード転送状況

(令和5年4月～令和6年3月)

項 目 月 別	国内転送枚数	外国転送枚数	非会員枚数	取扱処理枚数
令和5年4月	704,856	0	55,346	760,202
5月	694,207	0	47,177	741,384
6月	824,086	0	55,288	879,374
7月	651,342	326,003	53,846	1,031,191
8月	842,779	0	64,402	907,181
9月	556,519	0	59,682	616,201
10月	727,987	0	62,646	790,633
11月	691,619	0	61,260	752,879
12月	720,394	0	54,997	775,391
令和6年1月	653,828	0	53,929	707,757
2月	661,669	0	56,837	718,506
3月	652,942	363,865	61,881	1,078,688
合 計	8,382,228	689,868	687,291	9,759,387
月平均	698,519	57,489	57,274	813,282

令和4年度合計	7,957,182	1,113,265	585,306	9,655,753
増 減	425,046	-423,397	101,985	103,634
増 減 率 (%)	5.3%	-38.0%	17.4%	1.1%

令和5年度行事一覧

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
令和5年			
4	1		神奈川県支部 神奈川非常通信コンテスト 渡島檜山支部 2mFMロールコール
	1～2		岐阜県支部 公開運用(道三まつり)
	1～28		長崎県支部 長崎県コンテスト
	2		広島県支部 事前運用(呉みなと祭) 東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員会
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			和歌山県支部 和歌山コンテスト
	2～9		群馬県支部 第四級アマチュア無線技士養成 課程講習会
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練
			徳島県支部 何でも座談会
	8～9		信越地方本部 信越非常通信訓練コンテスト
	9		和歌山県支部 コンテストLOGの作成講習会/ D-STAR非常通信のためのロールコール
	13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	16		上川宗谷支部 公開運用(美深白樺樹液春ま つり)
			長野県支部 支部大会実行委員会
	20	監事の監査/周波数委員会	
	20～21		東北地方本部 オール東北コンテスト
	22		石川県支部 ARDF練習会
	23		東京都支部 支部大会 徳島県支部 eQSL講座
	24	会員増強組織強化委員会	
	29		広島県支部 公開運用(呉みなと祭)
	29～30	ALL JA コンテスト	茨城県支部 オール茨城コンテストⅠ部 愛知県支部 無線運用体験(一宮浅野公園つ つじ祭り)
	5	1～4	
1～6/4			富山県支部 社団局運用(支部の集いPR)
3			東京都支部 東京コンテスト
4			静岡県支部 静岡コンテスト
			愛媛県支部 コンテスト委員会
5			三重県支部 オール三重33コンテスト
			上川宗谷支部 青少年とアマチュア無線家の 活性化事業
6			渡島檜山支部 2mFMロールコール
7			東京都支部 「福生deはむハムフェア・フリ マと音楽」出展
			群馬県支部 第三級アマチュア無線技士養成 課程講習会
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			奈良県支部 ARDF練習会

月	日	行 事		
		連 盟	地方本部・支部	
5	8	第65回理事会	北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練	
	8~21		長野県支部 前期QSOパーティー	
	11		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール	
	13		徳島県支部 何でも座談会	
	13~14		秋田県支部 高校ARDF春季大会	
			関西地方本部 関西VHFコンテスト	
			信越地方本部 JAO-VHFコンテスト	
			群馬県支部 ARDF競技大会	
	14		山口県支部 オール山口コンテスト(HF)	
			青森県支部・渡島檜山支部 津軽海峡コンテスト	
			埼玉県支部 さいたまフィールドミーティング	
			和歌山県支部 和歌山ハム・ベンション(春季)/D-STAR非常通信のためのロールコール	
	15~6/15		富山県支部 情報通信月間PR特別局運用	
	20		信越地方ARDF競技大会	栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	20~21			群馬県支部 オール群馬コンテスト
	21			山口県支部 オール山口コンテスト(VUSHF)
				東京都支部 神奈川県支部主催フィールドミーティングへ出展
				神奈川県支部 かながわアマチュア無線フィールドミーティング
				山梨県支部 かながわアマチュア無線フィールドミーティング出展
	26			三重県支部 フィールドミーティング2023
				広島県支部 CW講習会
				大分県支部 はむ寺子屋
				新潟県支部 新潟コンテスト(7MHz/ハイバンド)
	27			長野県支部 支部大会実行委員会
	27~28			大分県支部 大分県総合防災訓練説明会
				関西地方本部会議
四国地方本部会議				
新潟県支部 ARDF競技大会				
28	宮城県支部 電波の日記念運用			
6	1	愛知県支部 ちびっ子電波体験教室		
	1~10	徳島県支部 英会話QSO勉強会		
		福井県支部 ARDF競技福井練習会		
		青森県支部 電波の日記念運用		
		山形県支部 電波の日記念運用		
1~11	福島県支部 電波の日記念移動公開運用			
	十勝支部 マラソンQSO			
	秋田県支部 「電波の日」記念運用			
	岩手県支部 電波の日記念運用			
1~17				

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
6	3	アマチュア無線フェスティバル実行委員会	関東地方本部会議(Web会議) 中国地方本部会議 神奈川県支部 オール神奈川コンテスト (フォトコンテスト同時開催) 秋田県支部 高校ARDF大会 渡島檜山支部 2mFMロールコール 長野県支部 ALL JA0 21/28MHzコンテスト 宮崎県支部 宮崎コンテスト 石狩後志支部 支部コンテスト 山梨県支部 ハムの集い・アイボール会・抽選会 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 釧路根室支部 オール釧根コンテスト 富山県支部 支部の集い 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 徳島県支部 何でも座談会 山形県支部 山形さくらんぼQSOコンテスト 長野県支部 ARDF競技大会(ARDF長野) 岐阜県支部 オール岐阜コンテスト 兵庫県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会 大分県支部 大分コンテスト 信越地方本部 コンテスト委員会 東京都支部 支部50周年記念「無線サイエンスセミナー」 山梨県支部 山梨コンテスト 和歌山県支部 アンテナ製作講習会/D-STAR 非常通信のためのロールコール 高知県支部 ハムの集い(支部大会) 福岡県支部 電波教室 青森県支部 南部圏交流コンテスト 秋田県支部 ハムの集い 山形県支部 山形さくらんぼQSOコンテスト(VU部門) 宮城県支部 宮城通信訓練コンテスト
	3~4		
	4		
	8		
	10		
	10~11		
	11		
	17		
	17~19		
	18		
	24		
	24~25		
		ワイヤレスネットワーク委員会 ALL ASIAN DX コンテスト(電信部門)	静岡県支部 西部ハムの祭典 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 島根県支部 島根対全日本コンテスト 徳島県支部 アマチュア無線初心者講座 岩手県支部 2023年岩手通信訓練コンテスト 新潟県支部 新潟コンテスト(ローバンド)
			北海道地方本部 ALL JA8コンテスト

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
7	16		宮城県支部 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2023
			上川宗谷支部 支部大会
			長野県支部 支部大会
	17		滋賀県支部 ALL滋賀コンテスト
	22～23		和歌山県支部 支部移動ディ
			鹿児島県支部 青少年のための科学の祭典「2023鹿児島」
			青森県支部 オール青森コンテスト
	23		群馬県支部 支部大会
			岐阜県支部 支部大会実行委員会
			奈良県支部 アンテナ製作講習会
			大分県支部 はむ寺子屋
			空知留萌支部 支部総会
	24		石川県支部 こどもラジオ製作教室
			徳島県支部 アマチュア無線通信講座 (FT8移動運用実践)
	25～31		福島県支部 全福島マラソンQS0
	27		鹿児島県支部 電波教室(ラジオ工作)
	28		長野県支部 国宝松本城太鼓まつり記念運用
	29	第68回理事会 (Web会議)	広島県支部 公開運用(三次きんさい祭)
	29～30		茨城県支部・栃木県支部 栃木・茨城合同ミーティング
			鹿児島県支部 鹿児島コンテスト
	29～31		新潟県支部 全国高校ARDF大会
	30		岡山県支部 ハムの集い岡山2023
			高知県支部 子供科学工作教室(小学生親子で参加)
			熊本県支部 電波教室
			富山県支部 ハムセミナー「ラジオ工作教室」
8	1	アマチュア無線フェスティバル実行委員会	
	5		東京都支部 フィールドオンエアデーミーティング
			福岡県支部 電波教室
	5～6	フィールドデーコンテスト	大分県支部 フィールドデーコンテスト
	6		秋田県支部 高校ARDF夏季大会(こまち杯)
			富山県支部 ハムセミナー「みんなでラジオを作ろう」
	6～27		徳島県支部 製作集中講座
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	10		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	11		熊本県支部 電波教室
			岐阜県支部 親子電子工作教室
			長崎県支部 子どもラジオ教室
			上川宗谷支部 支部コンテスト

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
8	11～13 12	2023アマチュア無線フェスティバル	広島県支部 公開運用(三原やっさ祭) 徳島県支部 何でも座談会 渡島檜山支部 2mFMロールコール 北陸地方本部 JA9コンテストVU2023 奈良県支部 奈良V・UHFコンテスト 和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロールコール 山口県支部 馬関祭コンテスト表彰式 福岡県支部 電波教室/飯塚科学広場
	12～13		中国地方本部 2023アマチュア無線フェスティバル出展
	13		東京都支部 2023アマチュア無線フェスティバル出展
	19		北陸地方本部・石川県支部 北陸ハムフェスティバル2023・石川県支部大会
	19～20		熊本県支部 電波教室
	20		胆振日高支部 支部コンテスト
	25～27		佐賀県支部 オール佐賀コンテスト
	26～27		新潟県支部 ギガヘルツコンテスト
	27		東海地方本部 名広夏まつり(アマチュア無線公開)
			山梨県支部 電波教室(ラジオの製作)
			愛知県支部 無線運用体験(名広愛児園)
			滋賀県支部 コンテスト委員会
			和歌山県支部 CW&DXミーティング
28～9/3	島根県支部 ハムの集い		
31	東京都支部 支部50周年記念「東京都支部マラソンコンテスト」		
9	1～3 1～10	ALL ASIAN DX コンテスト(電話部門)	渡島檜山支部 48時間コンテスト 徳島県支部 AWA9コンテスト(徳島マラソンコンテスト) 長野県支部 後期QSOパーティー
	2～3 2～4		埼玉県支部 こども科学・通信体験イベント2023
	3		栃木県支部 とちぎビギナーセミナー
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			福岡県支部 ハムの集い
			秋田県支部 災害ロールコール
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	9		徳島県支部 何でも座談会
			福岡県支部 電波教室
			秋田県支部 高校ARDF秋季大会
			渡島檜山支部 2mFMロールコール

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
9	9~10		山梨県支部 第四級アマチュア無線技士養成 課程講習会
			秋田県支部 オール秋田コンテスト
	10		静岡県支部 支部大会
			奈良県支部 フィールドミーティング大会
			和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロー ルコール
			岡山県支部 オール岡山コンテスト
			高知県支部 特別体験局(小中高生)8J5TOSA
			宮城県支部 ハムの集い
			十勝支部 支部大会・ハムの集い
			釧路根室支部 支部大会
	14		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	15		茨城県支部 いばらきハムの集い
	16		富山県支部 ARDF練習会
	16~17		栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成 課程講習会
	17	コンテスト委員会審査分科会	東京都支部 支部50周年記念「モービルFOX 東京大会」/青少年のための科学の祭典東京 大会出展
			岐阜県支部 支部大会実行委員会
			山口県支部 D-Star研修会
			徳島県支部 徳島マラソンコンテスト用電子 ログの勉強
			愛媛県支部 愛媛ハムの集い
			高知県支部 CW講習会(初級者向け)
	18		関西地方本部 XPO記念コンテスト
			長崎県支部 子どもラジオ教室
	22		大分県支部 大分県総合防災訓練実行委員会
	22~23		東海地方本部 愛・地球博コンテスト
	23		関東地方本部 監査指導委員長会議(Web会 議)
			石狩後志支部 北海道ハムフェア出展(ラジ オ工作)
	23~24		北海道地方本部 北海道ハムフェア
	24		東海地方本部 東海ハムの祭典
			愛知県支部 支部大会
			大分県支部 はむ寺子屋
			青森県支部 支部大会とハムの集い
	30		山形県支部 ハムミーティングin山形市
			神奈川県支部 ニューオペレータハム講座 (初心者向け・ハムの楽しみ方)
	30~10/1	第69回理事会(Web会議併催)	福岡県支部 福岡コンテスト
10	1	北陸地方ARDF競技大会	栃木県支部 製作技術講習会
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			山口県支部 公開運用(まちかどフェスタ)
			鳥取県支部 2023鳥取ハムの集い&支部大会
	1~15		徳島県支部 CW講座

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
10	1~31		東京都支部 東京都支部登録クラブオンエア 一月間 青森県支部 電波を正しく使おうキャンペ ーン 広島県支部 事前運用(西条酒まつり) 和歌山県支部 和歌山ハム・ペンション(秋季) 四国地方本部会議 秋田県支部 高校3.5メガARDF競技大会 渡島檜山支部 2mFMロールコール 岐阜県支部 公開運用(ぎふ信長まつり) 広島県支部 公開運用(西条酒まつり) 関西地方本部会議(Web会議併催) 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練 山梨県支部 電波教室(ラジオの製作) 和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロー ルコール オホーツク支部 支部大会/ハムのつどい 鳥取県支部 オール鳥取コンテスト 福島県支部 ハムの集い 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 奈良県支部 非常通信ルート設定の通信訓練 14 アマチュア無線フェスティバル実 行委員会 14~15 中国地方本部会議 徳島県支部 何でも座談会 15 コンテスト委員会審査分科会 四国地方ARDF競技大会 長崎県支部 青少年科学の祭典2023 東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員 会 関西地方本部 フィールドミーティング舞洲 千葉県支部 オール千葉コンテスト 山口県支部 公開運用(バイクフェス2023) 岩手県支部 岩手県支部大会、ハムの集い 宮城県支部 アマチュア無線何でも相談室 富山県支部 ハムセミナー「工作キット組み 立て」 21 栃木県支部 第三級アマチュア無線技士養成 課程講習会 徳島県支部 防災フェスタ 大分県支部 おおいたはむの集い前夜祭 21~22 東京都支部 「JOTA JOTI PLAZA2023」体験 運用支援 22 東京都支部 東京CWコンテスト 大分県支部 支部大会・おおいたはむの集い 宮崎県支部 ハムの集い/支部総会 胆振日高支部 支部大会 27 福岡県支部 電波教室 28 選挙管理会

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
10	28~1/31		東京都支部 支部50周年記念「多摩東京移管130周年記念8J130TAM特別局」支援
	29		埼玉県支部 感度交換訓練 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 高知県支部 技術講習会(コンテスト電子ログ申請講習会)
	31~11/30		福井県支部 ハムのつどい 佐賀県支部 体験運用(佐賀インターナショナルバルーンフェスタ)
11	1~7		東海地方本部 東海マラソンコンテスト
	1~10		高知県支部 高知マラソンコンテスト
	2~3		北陸地方本部 JA9コンテストHF2023電話部門
	3		岡山県支部 公開運用(里庄町産業文化祭)
	4		長野県支部 長野高専キッズサイエンス出展 北海道地方本部 8支部発足50周年記念講演会/8支部発足50周年記念祝賀会 三重県支部 支部大会(ハムフェスティバル2023)
	5		長崎県支部 子どもラジオ教室 北海道地方本部会議 群馬県支部 群馬ハムの集い 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 大阪府支部 オール大阪コンテスト 和歌山県支部 テクニカル講座 大分県支部 はむ寺子屋
	6	会員増強組織強化委員会(Web会議併催)	
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	9		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	11	関西地方ARDF競技大会	愛知県支部 あいち防災フェスタ 徳島県支部 何でも座談会 福岡県支部 電波教室 渡島檜山支部 2mFMロールコール
	11~12		京都府支部 青少年のための科学の祭典京都大会
	12		神奈川県支部 かながわハムの集い2023 山梨県支部 第三級アマチュア無線技士養成課程講習会 静岡県支部 支部・高文連共催ARDF競技大会 岐阜県支部 支部大会(ハムの集い) 奈良県支部 青少年のための科学の祭典 和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロールコール 香川県支部 2023香川ARDF競技大会 石狩後志支部 支部大会 富山県支部 ラジオ工作教室

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
11	14	監事の監査	秋田県支部 コンテスト委員会 宮城県支部 電波教室(科学館と共催)
	16		渡島檜山支部 ハムの集い懇親会
	18		北陸地方本部 JA9コンテストHF2023電信部 門
	18~19		栃木県支部 青少年の体験運用
			山梨県支部 公開運用(県民の日記念行事)
	19		滋賀県支部 ハムのつどい
			山口県支部 ハムの集いin山口
			長崎県支部 アマチュア無線の祭典(ハムの 集い)
			渡島檜山支部 ハムの集い
			石川県支部 こどもラジオ製作教室
		九州地方本部 オール九州コンテスト	
	22~23 23	第70回理事会(Web会議併催) 関東地方ARDF競技大会	東京都支部 東京UHFコンテスト
			山梨県支部 山梨地区非常無線通信訓練コン テスト
			京都府支部 支部大会
			徳島県支部 ハムの集い2023
			沖縄県支部 アマチュア無線の体験運用 in NIGT
茨城県支部 ARDF競技大会			
広島県支部 上級国家試験対策勉強会			
山梨県支部 公開運用(山梨県地震防災訓練 出展)			
鹿児島県支部 ハムのつどいin第一工科大学			
25			
25~26			
26			
12	1	D-STAR委員会	香川県支部 香川マラソンコンテスト
	1~15		四国地方本部会議
			渡島檜山支部 2mFMロールコール
	2		関西地方本部会議(Web会議併催)/年末ハムの 集い
	3		信越地方本部会議(Web会議)
			神奈川県支部 かながわアマチュア無線非常 通信ネットワークロールコール
	3		埼玉県支部 さいたまハムの集い・支部大会
			岐阜県支部 公開運用(岐阜市けやき祭り)
	3		京都府支部 KCWA CWコンテスト
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
	3		佐賀県支部 ハムの集い・チャリティーオー クション
			北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練
	8		関東地方本部会議
	9		中国地方本部会議
			北海道地方本部 北海道選出社員との懇談 会(Web会議)

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
12	9		東京都支部 はむハムフェア番外編アンテナミーティング 徳島県支部 何でも座談会 長野県支部 地区研修会「基板から作る小型キーヤーの制作」 北陸地方本部会議 千葉県支部 ハムの集い準備会 栃木県支部 とちぎビギナーセミナー 和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロールコール 兵庫県支部 電子工作イベント(ラジオキット製作)後援 熊本県支部 電波教室 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 静岡県支部 技術講習会
	10		
	14		
	16	コンテスト委員会審査分科会 体験運用推進ニューカマー支援委員会(Web会議)	
	17		石狩後志支部 子供向けラジオ工作会・体験運用会 富山県支部 ハムセミナー「ラジオ製作教室」
	21		
	26~1/10	ワイヤレスネットワーク委員会 (メールによる)	
令和6年			
1	2		秋田県支部 VUオール秋田QSOパーティー 胆振日高支部 ニューイヤー2mコンテスト 十勝支部 QSOパーティー 富山県支部 富山県非常無線通信訓練コンテスト 東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員会 香川県支部 コンテスト委員会 熊本県支部 2024オール熊本コンテスト 東海地方本部 おもしろ科学教室 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練 埼玉県支部 オール埼玉コンテスト 石狩後志支部 子供向けラジオ工作会・体験運用会 東京都支部 支部50周年記念誌作成 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 信越地方本部会議(新潟) 和歌山県支部 支部大会打合せ 徳島県支部 何でも座談会 宮崎県支部 新春アイボールミーティング 渡島檜山支部 2mFMロールコール 新潟県支部 新年会 茨城県支部 賀詞交歓会 千葉県支部 ハムの集い準備会
	2~3		
	2~7	QSOパーティー	
	6		
	6~7		
	7		
	8		
	10~3/31		
	11		
	13		
	13~14		
	14		

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
1	14		和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロールコール 岡山県支部 電子工作教室 福岡県支部 新年賀詞交歓会 高知県支部 コンテスト委員会 大分県支部 はむ寺子屋/新春アイボールパーティー 宮城県支部 オール宮城コンテスト 信越地方本部会議(長野・Web会議) 神奈川県支部 2024新年アイボールパーティー 奈良県支部 CW実技講習会 長野県支部 国宝松本城氷彫フェスティバル2024
	16 20		
	20~21 21		
	26~28		
	26~2/2 27	アワード委員会(文書による) 体験運用推進ニューカマー支援委員会(Web会議)	東京都支部 コンテスト委員会
	28		神奈川県支部 神奈川ニューイヤーQRVデー 大阪府支部・兵庫県支部 関西ハムシンポジウム2024 十勝支部 新年アイボール会・アマチュア無線セミナー 鹿児島県支部 青少年のための科学の祭典「科学のまち」日置市大会
	29	会員増強組織強化委員会	東京都支部 秋葉原イベント「千代田区文化芸術フェスティバル 2024」出展
	29~2/11		
2	1	選挙告示 社員・理事の候補者・地方本部長の選挙	
	1~10 1~11		愛媛県支部 愛媛マラソンコンテスト 富山県支部 富山マラソンコンテスト&パーティー 鹿児島県支部 新年会 宮城県支部 アマチュア無線何でも相談室 渡島檜山支部 2mFMロールコール 京都府支部 京都コンテスト 山形県支部 山形マラソンQSOパーティー 栃木県支部 ハムの集い事前準備会議 静岡県支部 東静アマチュア無線フェア 三重県支部 技術講習会(ハムログ入門講座) 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 和歌山県支部 支部大会 広島県支部 ハムの集い 富山県支部 ハムセミナー「みんなでラジオを作ろう」
	3	アマチュア無線フェスティバル実行委員会	
	3~4 3~12		
	4	コンテスト委員会	北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 大分県支部 大分県総合防災訓練実行委員会 徳島県支部 何でも座談会
	5		
	8	体験運用推進ニューカマー支援委員会(Web会議)	
	9 10		

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
2	10～12 11		長野県支部 松本市イルミネーション2023-24 関東地方本部 関東UHFコンテスト 岐阜県支部 技術講習会 愛知県支部 アマチュア無線なんでも相談会 奈良県支部 支部大会準備会議 和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロー ルコール 徳島県支部 衛星通信講座 愛媛県支部 体験交信(まなぼうさい) 宮崎県支部 グランドミーティング 岩手県支部 いわてWINTERコンテスト 神奈川県支部 CW QSO実践講座 栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成 課程講習会 群馬県支部 技術講習会(430MHz帯4段コーリ ニアアンテナ製作) 山梨県支部 技術講習会・アイボール会・ミニ 抽選会 大阪府支部 技術講習会(簡易衛星受信アン テナ製作) 岡山県支部 技術講習会 島根県支部 QSO通信訓練コンテスト 福岡県支部 電波教室 佐賀県支部 支部大会 長崎県支部 ハムのセミナー 山形県支部 技術講習会
	17 17～18		
	18		
	20 21	選挙管理会 選挙告示 社員・理事の候補者・地方本部長の 立候補者告示 無投票当選告示 投票の取りやめ告示	
	23 24～25 25	QSL問題対策委員会(Web会議) 第71回理事会(Web会議併催)	広島県支部 広島WASコンテスト 千葉県支部 ちばハムの集い2024支部大会 沖縄県支部 支部大会(ハムの集い) 富山県支部 ARDF審判講習会&勉強会 新潟県支部 メイカーズながおかまつり出展 長野県支部 地区研修会 電信(CW)講習会
3	1～10		徳島県支部 AWA3コンテスト(徳島マラソン コンテスト) 関西地方本部会議(Web会議併催) 四国地方本部会議 渡島檜山支部 2mFMロールコール 栃木県支部 ハムの集い 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練
	2		
	3		
	8		

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
3	9		九州地方本部 西日本ハムフェア前夜祭 徳島県支部 何でも座談会
	10		長野県支部 ALL JA0コンテスト(3.5MHz) 九州地方本部 西日本ハムフェア 奈良県支部 支部大会 和歌山県支部 D-STAR非常通信のためのロー ルコール 高知県支部 支部報発行委員会 長野県支部 ALL JA0コンテスト(7MHz)
	11		北陸地方本部 監査指導委員長会議(文書会 議)
	14		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	16		福井県支部 体験運用(北陸新幹線ウェルカ ムフェスタ参加)
	17		石川県支部 こどもラジオ製作教室 香川県支部 ハムフェスティバルin香川 徳島県支部 徳島マラソンコンテスト用電子 ログの勉強
	20		東海地方本部 東海QSOコンテスト
	21	QSL問題対策委員会(Web会議)	
	22	体験運用推進ニューカマー支援委 員会(Web会議)	
	24		北陸地方本部会議 大分県支部 はむ寺子屋
	29	国際問題検討委員会	
	30		関東地方本部会議(文書会議)
	31	コンテスト委員会(Web会議)	京都府支部 初級CW教室 高知県支部 アマチュア無線特別局体験(小 中高生対象)
◎非常無線通信訓練・防災訓練			
	5/21	長崎県	10/1 愛知県
	5/28	高知県, 福岡県, 長崎県, 鹿児島県	10/15 島根県
	6/8	山口県	10/22 長野県
	6/18	渡島檜山	11/11 愛知県
	8/4	長崎県	11/12 大分県
	8/11	沖縄県	11/19 岡山県
	8/26	愛媛県	11/26 三重県
	8/27	十勝, 富山県	12/3 静岡県
	9/1	茨城県	1/13 鹿児島県
	9/3	東京都, 静岡県, 京都府, 福島県	1/20 高知県
	9/10	千葉県, 和歌山県, 山形県	
	9/18	群馬県	
◎ 各支部ごとにそれぞれ支部役員会議、クラブ代表者会議などを開催するほか、支部報発行、R L局 などの移動運用をおこなった。			

令和5年度 理事会報告

(1) 第65回理事会

開催日 令和5年5月20日

場 所 連盟会議室

出席理事 高尾会長、森田副会長、尾形副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、原理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第1号議題 令和4年度事業報告について

原案通り承認

第2号議題 令和4年度決算について

原案通り承認

賛成11名、保留5名(木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事)

第3号議題 定款における社員の資格の件および規則における社員の被選挙権の件
規則を改正する案を承認

第4号議題 JARLバンドプランの改正案について

原案通り承認

第5号議題 特別局及び特別記念局の開設基準の一部改正について

原案通り承認

第6号議題 理事からの提案について(田中理事)

「大阪・関西万博参画について」承認

第7号議題 理事からの提案について(田中理事 他理事6名)

「会計帳簿閲覧謄写請求訴訟の地裁判決に対する控訴を取り下げる件」否決

賛成7名、反対9名(高尾理事、尾形理事、島田理事、菊池理事、中村理事、原理事、三井理事、正村理事、高橋理事)

第8号議題 社員提案について(地方本部長選挙)

「地方本部長選挙にかかる規則改正の件」社員総会上程承認

第9号議題 社員提案について(高尾理事解任)

「理事解任の件(高尾義則会長理事の理事解任)」社員総会上程承認

第10号議題 社員提案について(田中理事解任)

「理事解任の件(JR3QHQ 田中理事の解任)」社員総会上程承認

第11号議題 第12回定時社員総会の開催について

原案通り承認

第12号議題 理事からの提案について(田中理事 他理事6名)

「高尾義則理事を会長(代表理事)から解職する件」否決

賛成7名、反対8名(尾形理事、島田理事、菊池理事、中村理事、原理事、三井理事、正村理事、高橋理事)

(2) 第66回理事会

開催日 令和5年6月25日

場 所 住友不動産・ベルサール西新宿 (Room5)

出席理事 森田副会長、尾形副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、原理事、三井理事、正村理事、森田理事、

高橋理事

議 題

- 第1号議題 高尾義則理事を会長（代表理事）から解職する件
承認
賛成 14 名、保留 1 名(尾形理事)
- 第2号議題 会長選定の件
森田耕司理事を会長（代表理事）に選定
賛成 11 名、保留 4 名(尾形理事、菊池理事、中村理事、高橋理事)
- 第3号議題 副会長選定の件
原理事を副会長に選定
- 第4号議題 第12回定時社員総会第4号議題に対する理事会としての意見書を決議する件
承認
賛成 13 名、保留 2 名(尾形理事、中村理事)
- 第5号議題 第12回定時社員総会第5号議題に対する理事会としての意見書を決議する件
承認
賛成 9 名、保留 5 名(尾形理事、島田理事、菊池理事、中村理事、高橋理事)、
(田中理事：議案利害関係人該当のため採決不参加)

(3) 第67回理事会

開催日 令和5年6月25日

場 所 住友不動産・ベルサール西新宿 (Room5)

出席理事 森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、
安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、
高橋理事

議 題

- 第1号議題 会長選任の件
高尾氏の会長および理事辞任により第66回理事会において森田会長が
選定されたことにより審議不要
- 第2号議題 会計帳簿等閲覧謄写請求訴訟の地裁判決に対する控訴を取り下げる件
出席理事全員承認
- 第3号議題 第62回理事会第4号議案で承認された委員会の報告の件
報告書を速やかに提出することを承認

(4) 第68回理事会

開催日 令和5年7月29日

場 所 Web会議

出席理事 森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、
安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

- 第1号議題 第62回理事会第4号議案で承認された委員会の報告の件
各委員会の令和4年度検討状況等報告書を報告
- 第2号議題 委員会の設置について
(1)「体験運用推進・ニューカマー支援委員会」承認
賛成 13 名(森田会長、尾形副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、
安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理
事)

(2)「電子Q S L委員会」廃止「Q S L問題対策委員会」設置承認

賛成 9 名（森田会長、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事）

(3)「法務委員会」否決

賛成 7 名（森田会長、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、森田理事）反対 6 名（尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、三井理事、正村理事）保留 1 名（高橋理事）

(4)「100 周年記念事業ワーキンググループ」承認

賛成 13 名（森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）

第 3 号議題 参与の選出について

承認

賛成 12 名（森田会長、原副会長、島田理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）

(5) 第 69 回理事会

開催日 令和 5 年 9 月 30 日、10 月 1 日

場 所 連盟会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第 1 号議題 選挙規程の一部改正について

原案通り承認

賛成 14 名（森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）、保留 1 名（中村理事）

第 2 号議題 法令改正に伴うレピータ局関係規程の改正について

原案通り承認

賛成 15 名（森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）

第 3 号議題 新設委員会の委員長選任について

原案通り承認

賛成 14 名（森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）、保留 1 名（中村理事）

第 4 号議題 事務局職員就業規程の改正について

原案通り承認

賛成 15 名（森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）

第 5 号議題 理事欠員にともなう今後の取扱いについて

欠員補充しないことを承認

賛成 15 名（森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、

種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 6 号議題 顧問の辞任について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 7 号議題 J A R L の個人情報保護法関連規定の件

規定やデータ提供方法を今後検討することを承認

賛成 13 名(森田会長、原副会長、島田理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、
反対 1 名(尾形副会長)、(菊池理事:所用により決議不参加)

第 8 号議題 定款第 66 条で定める委員会の組織について、委員会に理事を配置する件

原案を一部修正して承認

賛成 15 名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 9 号議題 反社会的勢力排除条項を定款に記載する件

再度文案を作成することを承認

賛成 15 名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 10 号議題 令和 5 年 2 月 25 日に開催された第 64 回理事会第 4 号議案で決定された選挙管理会管理者の件
今後の選挙管理会管理者の選定において公平性及び公正性を考慮の上、選定することとした
(採決なし)

(6) 第 70 回理事会

開催日 令和 5 年 11 月 25 日、26 日

場 所 連盟会議室および W e b 会議

出席理事 森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事(島田理事:26 日所用により欠席)

議 題

第 1 号議題 理事および監事の定数および推薦理事の人数について

原案通り承認

賛成 12 名(森田会長、原副会長、島田理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、保留 3 名(尾形副会長、菊池理事、中村理事)

第 2 号議題 令和 6 年度地方本部費の配分について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議題 定款の理事に関する規定の改正について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、

種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対1名(中村理事)

第4号議題 選挙公報の周知方法の変更について

否決

賛成3名(森田会長、種村理事、松田理事)、反対12名(尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、安孫子理事、田中理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第5号議題 個人情報保護法関連規定等の改正について

原案を一部修正して承認

賛成15名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第6号議題 反社会的勢力排除に関する規則改正等について

原案通り承認

賛成13名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事)、反対1名(松田理事)、保留1名(高橋理事)

反社条項の規則記載位置：上位記載賛成11名(森田会長、原副会長、菊池理事、木村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、森田理事、高橋理事)、雑則記載賛成3名(尾形副会長、島田理事、正村理事)、保留1名(種村理事)

第7号議題 前会長高尾執行部に関する報告書について

理事会として記載内容がほぼ事実と認められると判断し、高尾氏に当該文書を送付し、文書に対する意見を求め、意見の内容を確認の上、今後の対応を決定することを承認

賛成13名(森田会長、尾形副会長、原副会長、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、保留1名(中村理事)、(島田理事:所用により欠席)

(7) 第71回理事会

開催日 令和6年2月24日、25日

場所 連盟会議室およびWeb会議

出席理事 森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事 (尾形副会長：25日所用により欠席)

議題

[審議順序]

24日：第1号、第2号、第3号(中村理事：所用により途中で退出)、第4号

25日：第11号(中村理事：所用により途中で退出)、第12号、第9号、第10号、第7号、第8号、第5号、第6号

第1号議題 令和6年度事業計画案について

原案を一部修正して承認

賛成15名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第2号議題 令和5年度補正予算案について

原案通り承認

賛成13名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、保留2名(菊池理事、中村理事)

第3号議題 令和6年度収支予算案について

原案通り承認

賛成14名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第4号議題 第13回定時社員総会の開催について

開催日時、会場、議題・報告事項承認

賛成14名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第5号議題 コンテスト規約の一部改正について

次回理事会で継続審議

第6号議題 アワード規程の一部改正について

原案を一部修正して承認

賛成13名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第7号議題 国際アマチュア無線連合(IARU)の会長及び副会長候補の信任投票について

原案通り承認

賛成13名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第8号議題 特別記念局の開設について

原案を一部修正して承認

賛成13名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第9号議題 社員総会議事運営規程改正について

原案を一部修正して承認

賛成13名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第10号議題 役員等慶弔内規について

原案を一部修正して承認

賛成13名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第11号議題 前会長高尾執行部に関する報告書について

以下の項目を承認

(1)前会長高尾氏が、参加者が割り勘で支払った会合の飲食費をJARLに請求し支払いを受けた件について、理事が多く出席している委員会に的を絞っ

て監事が調査すること

(2)この報告書の記載内容が正しいものと判断し、JARLNEWS・メールマガジンをはじめその他各種WEB・紙等の媒体に公開すること

(3)高尾氏が正当な使途であると説明できないものは返還請求すること

賛成 13 名（森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）

第 12 号議題 体験運用マニュアルのホームページ掲載について

承認

賛成 13 名（森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事）

以上

令和6年5月16日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

令和5年度 委員会報告

連盟の各委員会について、別紙のとおり令和5年度の委員会開催及び検討状況等についてご報告いたします。

委員会名	委員長	担当課
1. 国際問題検討委員会	JE1MUI 遠藤 静夫	国際課
2. 会員増強組織強化委員会	JA7AJH 尾形 和俊	総務課
3. アマチュア無線フェスティバル実行委員会	JG1DKJ 澤田 倉吉	会員課
4. ARDF委員会	JF0JYR 高橋 哲也	会員課
5. アワード委員会	JR1DTN 佐藤 哲	会員課
6. コンテスト委員会	JR1LQK 土屋 勝	会員課
7. 電磁環境委員会	JA1LAS 高井 正興	会員課
8. 周波数委員会	JR1KHM 小谷 元史	会員課
9. ワイヤレスネットワーク委員会	JH1BSJ 芝山 仁	会員課
10. D-S T A R委員会	7M3TJZ 安田 聖	会員課
11. 体験運用推進・ニューカマー支援委員会	JR3QHJ 田中 透	会員課
12. Q S L問題対策委員会	JH3GXF 安孫子 達	会員課

※「100周年記念事業ワーキンググループ」「大阪・関西万博記念局実行委員会」の令和5年度の委員会開催はありません。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

国際問題検討委員会・令和5年度委員会報告

国際問題検討委員会
委員長 遠藤 静夫

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

(1) 令和5年8月31日(木) 対面会議で開催

参加者: JE1MUI (遠藤委員長)、JA1BRK(米村委員)、JK1MZT(吉野委員)、
JH1NBN(内山委員)、JH6RTO(福島委員)、JA9AMR(吉室委員)

欠席: JA1KAB (小室委員: 申し出により辞任)

審議事項: IARU 第3地域バンドプランの動向、2023年世界無線通信会議
(WRC23) に向けての ITU-R 及び APT (アジア太平洋電気通信
共同体) におけるアマチュア無線関連議題の検討状況、2023年
ARISS 年次総会の報告と宇宙飛行士との交信40周年式典開催の
予告

(2) 令和6年3月29日(金) 対面会議で開催

参加者: JE1MUI (遠藤委員長)、JA1BRK(米村委員)、JK1MZT(吉野委員)、
JH1NBN(内山委員)、JH6RTO(福島委員)、JA9AMR(吉室委員)、
JA1BJI (朝生委員: 新任)

審議事項: 世界無線通信会議 WRC-23 の結果報告及び WRC-27 の課題、
2024 ARISS 代表者会議及び40周年記念会議報告、IARU 第3地
域総会への対応

(3) 次年度以降の国際問題検討委員会継続理由

2027年世界無線通信会議(WRC27)に向けてアマチュア無線に影響がある
課題があり、ITU-R 及び APT の準備会合 APG27 での審議へのJARLの対
応方針等の審議が必要である。また、2024年IARU第3地域総会(バンコ
ック、タイ)へのJARL対処方針等及びARISS年次総会へのJARL対応に
についても審議が必要である。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

会員増強組織強化委員会・令和5年度委員会報告

会員増強組織強化委員会
委員長 尾形 和俊

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

(1) 第3回 令和5年4月24日(月)

議 題 地方本部・支部会員増強企画の実施報告と報奨金について、社員総会の表彰について、「体験運用」のルール・マニュアルの整備について、ハムフェア2023について、100周年記念事業について

第65回理事会 会員増強企画の実施内容及び報償金について報告

令和5年5月「体験運用マニュアル」をJARL Webに公開

(2) 第4回 令和5年7月3日(月)

議 題

① ハムフェア2023について

特設ブースにおいてニューカマー相談コーナー、アンテナ&特別記念局見学ツアー、南極観測隊コーナー等をおこなうこととした。

ハムフェア2023 特設ブース（アンテナ見学ツアー、ニューカマー相談コーナー等）開設

② 100周年記念事業について

キャッチフレーズの作成や100周年記念の賛助会員、記念誌の発刊等について議論がなされ、今後引き続き検討することとした。

(3) 第5回 令和5年11月6日(月)

議 題

① 会員増強企画について

3年ごとの区切りの3年目であることから次期の会員増強企画について継続実施するかについて協議を行い、一定の成果をあげているが次年度以降については現行の増強企画募集は実施せず別の検討を次回委員会において行うこととした。

② JARDとの協力体制について

JARDで実施している初心者交信教室や受講者交流サイトHAMtteへのJARL各地方本部・支部の協力連携について説明がなされた。

③その他

- ・ 情報通信月間行事募集要項についての説明がなされた
- ・ キャンペーン等について期限や内容の見直しなど検討を行った

(4) 第6回 令和6年1月29日(月)

議 題

①新たな会員増強企画について

新たな会員増強企画について各委員から意見が出されたが、あらためて次回委員において取組みを決定することとした。

②キャンペーンについて

キャンペーン等について見直しをおこない一部を継続・変更することとした。また、フレンドリーショップキャンペーンも昨年同様に実施することとした。

第71回理事会 キャンペーン等の一部変更について承認、JARLフレンドリーショップ会員ありがとうキャンペーン2024」実施承認

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

アマチュア無線フェスティバル実行委員会・令和5年度委員会報告

アマチュア無線フェスティバル実行委員会
委員長 澤田 倉吉

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第3回 令和5年6月3日(土) 連盟本部

議 題 1. 準備状況と今後のスケジュール

今年の出展団体数は172団体、小間数275小間、出展者説明会は7月5日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催することを報告した。

2. 出展団体の審査

いくつかのクラブについては、注意喚起ならびに条件付けにて了承。その他の出展団体(初出展:純粋クラブ2団体、一般クラブ1団体、ビジネス2社含む)は了承。

3. 会場使用計画:会場使用計画の出展小間数を事務局より報告。

4. イベントコーナーの演目について:例年行っている表彰式のスケジュールを記入したプログラムを報告し、今後スケジュール調整等を行うことを説明した。

5. 工作教室の教材:FMモノラルラジオ110個、モールス練習機110個を準備。

6. 特別記念局運用計画催事:7月1日午後1時30分からJARL本部にて開局式を行う。それ以降は各支部で運用を行う。

7. 「出展者へのお願い」について:昨年の同じ内容で日付変更を行ったことと、ブース内の人数制限の案内をはずしたこと、動画撮影等についての注意事項を追加したことを説明し、承認。

8. その他

動画撮影等の対応について、JARL NEWS、JARL Web等でも、案内を行うこととした。

第4回 令和5年8月1日(火)

議 題 ①現在の進行状況

- ・開会式やイベントコーナーにて配信了承の講演は、オンライン配信を行う。
オンライン配信チーム、海外局案内サポートチームを設置することが報告された。
- ・東京都知事より、ビデオメッセージが届くこととなったと実行委員長より報告があった。
- ・2024年ハムフェアに向けて、アンケートを行い、アンケート結果を元に出展料等の見直しについて協議することとした。

第1回 令和5年10月14日(土)

議 題 ・ ハムフェア 2023 開催結果報告

出展者数が 172 団体・276 小間、来場者数は、のべ 43,000 人と前年よりも増加した。

・ ハムフェア 2023 収支報告

出展団体、来場者とも 2022 年より増加し、連盟分担金は前年よりも約 200 万円減少した。

・ ハムフェア 2023 開催要項、キャッチフレーズ

キャッチフレーズは、「アマチュア無線 de 新たな体験 in 有明」とし、キャッチフレーズに基づき、「新たな会場と体験運用を通じて、アマチュア無線の楽しみ方」呼びかけることになった。

・ ハムフェア 2024 収支予算

出展団体のアンケート結果をふまえ、クラブブースを 3 タイプ設定することとし、出展参加料等を見直し、予算を決定した。

第 70 回理事会 ハムフェア 2023 開催の結果報告

第2回 令和6年2月3日(土)

議 題 1. ハムフェア 2024 メインビジュアル並びに関連業者の選定

4 社・12 点のデザイン提出があり、その中より決定。

印刷・運営派遣・小間造作・電気工事・警備・清掃の複数の業者へ見積依頼を行い、見積書の提出のあった 業者より選定した。

2. 出展参加要項について

クラブ小間の純粹・一般の区分けをなくし、システムパネルのない小間等を用意することとし、小間の種類を 3 パターン設定することとした。Web を利用した案内、申込方法を行うこととなった。

3. 会場使用計画について

有明 GYM-EX の会場での開催のため、小間の配置は調整することとなった。

4. ハムフェア 2024 会場内外の事故防止策について

後援団体等への事故防止対策案内について確認を行った。

5. その他

多くの人に興味を持ってもらえるように、ハムフェアの PR を Web・SNS 等を利用していく。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

ARDF委員会・令和5年度委員会報告

ARDF委員会
委員長 高橋 哲也

令和5年度のARDF委員会の開催はありませんでしたが、メーリングリストでの活動を次のとおりご報告いたします。

1. ARDF競技大会の開催

地方・支部・公認ARDF競技大会開催者より、開催申出が連盟事務局に提出され、ARDF委員会で審議のうえ、開催することを承認した。

開催状況は別紙のとおり。

2. ARDF審判員講習会の開催

地方・支部ARDF審判員講習会開催者より、開催申出が連盟事務局に提出され、ARDF委員会で審議のうえ、開催することを承認した。

開催状況は別紙のとおり。

3. 第21回IARU世界ARDF選手権大会出場希望者募集

通常の選抜根拠である令和4年度全日本大会が開催されていない為、令和4年1月1日から12月31日の間に行われたJARL主催の地方または支部ARDF競技大会に出場して失格とならなかった競技が1以上あること、世界ARDF選手権大会の競技に耐えられる方を条件としてJARL Webで出場希望者を募集し、選手選出とした。

4. 全日本ARDF競技大会

全日本ARDF競技大会の運営をする東北地方本部から運営が初めてなので、サポートしてほしいと相談があった。ARDF競技大会のルールや開催案内、パンフレット内容確認と助言を行った。

なお、同競技大会開催中に後援の日本アマチュア無線機器工業会より、JAIA賞のレプリカカップは1年後に前年優勝者に手渡しするのは遅いと意見があった。

ARDF委員会で審議した結果、レプリカカップは競技大会終了後に作製して優勝者に発送することとなった。

以上

2023地方ARDF競技大会開催状況

地方本部	開催日	開催場所
関東	令和5年11月26日	茨城県水戸市木場下町588-1 「水戸森林公園内」
東海	令和5年10月8日	三重県多気郡明和村池村
関西	令和5年11月11日	兵庫県加東市 播磨中央公園
四国	令和5年10月15日	高知県高岡郡檮原町
北陸	令和5年10月1日	福井県あわら市北潟「北潟公民館」周辺
信越	令和5年5月28日	新潟県見附市「見附市市民の森」周辺

2023支部ARDF競技大会開催状況

支部	開催日	開催場所
群馬県	令和5年5月13日～14日	群馬県甘楽総合公園
茨城県	令和5年11月25日	茨城県水戸市全隈町木葉下町周辺、水戸市森林公園
静岡県	令和5年11月12日	静岡県富士市大淵10847-1 丸火自然公園
香川県	令和5年11月12日	香川県三木町 総合運動公園 近郊
新潟県	令和5年5月27日	新潟県見附市「大平森林公園」

2023公認ARDF競技大会開催状況

県名	開催日	開催場所
茨城県	令和5年5月30日	笠松運動公園
茨城県	令和5年11月15日	八郷総合運動公園
栃木県	令和5年4月22日	栃木県那須烏山市三箇県民休養公園
広島県	令和6年3月24日	広島県呉市野呂山
香川県	令和6年1月28日	香川県東部
秋田県	令和5年8月6日	秋田県仙北郡美郷町千屋字大台野 美郷町ラベンダー園周辺
長野県	令和5年6月10日	長野県上伊那郡南箕輪村「大芝公園」周辺

2023ARDF審判員講習会開催状況

地方本部／支部	開催日	開催場所
三重県	令和5年9月17日	三重県多気郡明和町坂本1216-1
高知県	令和5年7月16日	高知県南国市大涌甲1 6 2 3 - 3
東北	令和5年4月23日	宮城県多賀城市南宮毛上28
富山県	令和6年2月25日	富山県射水市大門67

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

アワード委員会・令和5年度委員会報告

アワード委員会
委員長 佐藤 哲

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第1回 令和6年1月26日（金）～令和6年2月2日（金）（文書）

議 題 1. アワード発行状況報告

2023年4月から12月までの発行状況を報告した。

アワード：895件 ステッカー：508件

2021年4月から受付を開始した全日本・全世界アワードについて、累計発行数を報告した。全日本：42件 全世界：24件

2. アワード規程・規約の一部改正について

「全日本・全世界10000局アワード」規約を、「特記ごとに1人1回」とするが、総務大臣表彰は1回のみと「但し書き」にて表示することとした。

「アワード規約」の13条3について、現在のWAC申請料と合致していないことから、ARRLのWAC申請料に換算した金額との表示とし、日本円の表示をなくすることとした。「アワード規程」(別表)の「VUアワード」の「申請要件」「WASA-V・U・SHFアワード」と同様に、アマチュア衛星の表示を行うこととした。

3. その他

アワードのPRについて、チラシ配布・申請方法案内等を検討することとした。

第71回理事会 アワード規程・規約等の一部改正承認

(アワード規程・アワード規約ならびに全日本・全世界10000局賞規約の一部改正について)

◆ 提案内容

「アワード規程」の一部を改正することにより、アワード条件をわかりやすく、申請の際に迷うことのない内容といたしたくご提案させていただきます。

「アワード規約」については、(手数料)に表示されているWACアワード手数料について、現在のWACアワードの申請料と合致していない金額となっているため、表示内容について検討を行い、今後のWACアワード申請料が変更になった場合においても対応ができる表示内容といたしたくご提案させていただきます。

また、よみうりアワードの継承アワードとしてアワードの発行を開始した「全日本・全世界10000局賞」の規約について、申請方法において「特記ごとに1人1回」との改正を行い、モードごとの特記を目指して、より一層のアマチュア無線家の目標となるアワードとしていきたいと考えます。

○「アワード規程」の一部改正案

アワード規程第2条 JARL が発行するアワードの種類及び申請要件は、別表のとおりとする。

(別表)

アワード名称 V・U-1,000(VHF・UHF-1,000) (注4) / SWL V・U-1,000

申請要件 50MHz、144MHz、430MHz、1,200MHz、2,400MHz 各アマチュアバンドおよびアマチュア衛星のすべて若しくはいずれかのバンドを使用して異なる1,000局以上のアマチュア局と交信(SWLは受信)し、QSLカードをそれぞれのアマチュア局から各1枚得る。

○「アワード規約」の一部改正案

(手数料)

第13条

3 WAC 申請手数料は、1枚につき ARRL WAC アワード申請料を円に換算した金額とする。

附 則

この改正規約は、令和6年3月1日から施行する。

令和6年2月25日改正 第13条第3項

○「全日本・全世界10000局賞」規約の一部改正

2. 申請方法等

(2) 申請はアマチュア無線による交信またはSWLによる受信のいずれか1つとし、全世界・全日本10,000局賞のそれぞれのアワードの発行は、特記ごとに1人1回とする。

(7) 申請には、日本アマチュア無線連盟(JARL)正会員2名による審査証明書が必要とする。

審査者のうち1名は原則としてJARL理事、JARL支部長、JARL社員、JARL登録クラブの代表であること。外国のアマチュア局が申請する場合には、所属する国や地域のアマチュア無線連盟、又は同等の団体のアワードマネージャーによる審査証明書が必要とする。

□ 表彰(予定)

全世界・全日本10,000局賞を取得された方には総務大臣表彰を贈る。

(ただし、総務大臣の表彰は一人1回とする(よみうりアワード1万局を受賞された方を含む))

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

コンテスト委員会・令和5年度委員会報告

コンテスト委員会
委員長 土屋 勝

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第1回 令和6年2月4日(日) 事務局会議室

議 題 1. コンテスト規約の一部改正について

「共通規約」についての見直しを行い、一部改正を行うこととした。

「ALL ASIAN DX コンテスト」の賞について、一部改正を行うこととした。

2. その他

今後の電子化に向けたスケジュール等について検討

決定事項 コンテストアワード等の料金見直しについて

令和6年2月4日に開催されたコンテスト委員会にて、下記の2つの制度について、10年余価格の変更を行っていないため、2024年度より1000円に変更を行うこととした。

「コンテストアワード制度」

現在の申込価格(会員) 500円を 1,000円に変更

(非会員) 1,000円を 2,000円に変更

「マルチオペ種目の複数枚の賞状発行」

現在の申込価格(1枚) 500円を、1,000円に変更

第71回理事会 ALL ASIAN DX コンテスト規約の一部改正承認

(総務大臣賞贈呈削除・各種目大陸1位局への賞状発行)

◇ 改正内容

令和6年2月4日にコンテスト委員会を開催し、「共通規約」についての見直しを行い、一部改正を行うこととした。「ALL ASIAN DX コンテスト」の賞について、一部改正を行うこととした。

1. コンテスト規約の一部改正について

①「共通規約」の改正(全コンテスト)

コンテスト参加者からセルフスポッティングの適応範囲についての問い合わせが多いことから「共通規約」の(8)、(11)および(14)について次のとおり改正することを提案。

【改正内容】

- (8) コンテスト期間中に自局の運用情報を Web クラスタにアップロードするセルフスポッティングや、携帯電話、メール、チャット、SNS などのアマチュア無線以外の手段を用いて伝える行為、ならびにそれを依頼する行為を禁止する。

(11) コンテスト終了後にログを修正することを禁止する。ただし、電子ログのフォーマット変更や手描きログを電子ログ化する作業はこれに含まれない。

(14) 削除(ALL ASIAN DX コンテストについては、(7)・(10)・(11)の改正となります。)

②「ALL ASIAN DX コンテスト」の「10 賞」の改正

ALL ASIAN DX コンテストのシングルオペ・オールバンド種目の各大陸第1位の局への総務大臣賞贈呈が、総務省での見直しにより難しくなったことから、同種目の各大陸第1位の局についてJARLから電子化された賞状を贈ることとし、また、併せて世代別オーバーレイ賞の区分等についても見直し。

【改正内容】

10 賞

(1) 参加種目の各大陸1位の局には、電子化した賞状を送る。

(2) 参加種目のエンティティ（U.S.A.にあってはUS CQ Zoneのエリア3、4、5）ごとの参加局数に応じて、次のとおり電子化した賞状を贈る。

① 10局以下の場合.....1位 ② 11局～20局の場合.....2位まで

③ 21局～30局の場合.....3位まで ④ 31局以上の場合.....5位まで

(3) 各種目上位50%以内にある日本（JA）のコールエリア第1位のJARL会員局に電子化した賞状を贈る。ただし、(1)(2)の賞状を贈る局には発行しない。

(4) コンテストナンバーとして年齢を送った日本（JA）の参加局で、各種目の世代別上位3位までに世代別オーバーレイ賞を設け、電子化した賞状を送る。

ただし(1)(2)(3)の賞を贈る局には発行しない。

・世代は次の区分とする

－20歳未満 / －20歳以上40歳未満 / －40歳以上60歳未満 / －60歳以上80歳未満 / －80歳以上

2. その他

(1) コンテストの電子化の方向性について

ログ提出や賞状発行等の電子化を進めることで準備を進める。

① 国内コンテストから賞状の電子化について

2025年度開催のコンテストより電子化した賞状とし、規約の改正を行う方向で準備を進める。

② 提出ログ受付の全面電子化について

電子ログによる提出へ移行された局が増えていることから、2024年から2年間にて、電子ログ提出のPRを行い、2026年度より電子ログのみの受付とすることで準備を進める。

③ QSOパーティの電子申請の導入について

QSOパーティにおいて、2026年1月開催のQSOパーティより電子申請の受付、PDFによるステッカーのダウンロードが開始出来るよう準備を進める。従来とおり、ステッカーを希望される場合は郵送でのログ提出を受け付ける。

(2) ALL ASIAN DX コンテストの開催日について

コンディションの状況、それにとまなう電話部門参加者の減少等をふまえて、開催日の統合等について、JARL NEWSやJARL Webを通じて意見募集を行う。

第2回 令和6年3月31日(日) Zoom による会議

議 題 コンテスト規約(共通規約)の一部改正について

- ・第71回理事会に提案したコンテスト規約・共通規約の一部改正について、再度提案するにあたり、理事会への提案内容について協議し、5月の理事会へ共通規約の一部改正について再度提案することとした。また、第63回理事会において、コンテスト委員会への諮問があったことから、その内容においても「答申」を行うこととする。

● コンテスト委員会審査分科会

令和5年6月24日(土)

議 題 第65回 ALL JA コンテスト審査会

令和5年9月17日(日)

議 題 第53回 6m AND DOWN コンテスト審査会

令和5年10月15日(日)

議 題 第66回 フィールドデーコンテスト審査会

令和5年12月16日(土)

議 題 第44回 全市全郡コンテスト審査会

● コンテスト委員会電子ログ分科会

- ・審査会開催にあわせて、提出データ精査・集計を行う。

令和6年5月9日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
電磁環境委員会委員長 高井 正興

令和5年度 電磁環境委員会の活動状況について（中間報告）

令和5年度の電磁環境委員会の活動状況について次のとおりご報告いたします。

1. 令和5年度に開催した委員会に開催状況

委員会の開催はありませんが、メール等を活用しての意見交換を行っている。

2. 総務省の作業班等への対応について

当委員会では、現在、総務省の作業班やアドホックグループについて次の会議等へ参画し、対応している。なお、開催概要等については、すでに報告しているので割愛することといたします。

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

5.2GHz 帯及び 6GHz 帯無線 LAN 作業班

2.4GHz 帯無線 LAN 等の技術基準見直しアドホックグループ

対応：JA1OGZ 金子委員

直近の会議：令和5年2月22日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

短波帯デジタル固定局作業班

対応：JA1LAS 高井

直近の会議：令和5年3月8日(水)

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会

高速電力線搬送通信設備作業班

対応：JA1LAS 高井

直近の会議：最近、休眠状態ではあるが、再開されとの情報あり

●超広帯域無線システム（7.25～10.25GHz 帯）の屋外利用の

周波数拡大等に向けた技術的条件に関する検討会

対応：J A 1 L A S 高井

直近の会議：10GHz のアマチュアバンドが除外されオブザーバー

参加に、しかし引き続き注視の必要はあり

●情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 ワイヤレス電力伝送作業班

対応：J O 1 V V T 幸島委員

直近の会議：令和6年3月27日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

76GHz 帯小電力ミリ波レーダー高度化作業班

対応：J A 1 O G Z 金子委員

直近の会議：令和4年4月1日、最近は休眠中であるが動向は要注視

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

小電力システム作業班

対応：J A 1 L A S 高井

直近の会議：令和5年5月24日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

小電力システム作業班 TPMS・RKE システムアドホックグループ

対応：J O 1 V V T 幸島委員

直近の会議：令和6年3月1日

2. 年度を越えて検討を継続する事項等

前項の作業班やアドホックグループには、年度内で報告書のとりまとめを行い一旦収束するシステム等もありますが、ほとんどのシステムについては、機能の更新や拡張などを行い、短いものでは数ヶ月から長いものでは数年後に、作業班やアドホックグループが再開されることから長期間で各システムの動向を注視していかなければなりません。

また、すでにご報告のとおり小電力システム作業班に新たに TPMS・RKE システムアドホックグループが構成され 430MHz 帯を使用されている自動車等のタイヤ空気圧センサーやキーレスエントリーの国内での周波数共用の検討が行われています。

以 上

令和6年5月8日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
周波数委員会委員長 小谷 元史

令和5年度 周波数委員会 活動報告（中間報告）

令和5年度の周波数委員会の活動状況について、以下のとおりご報告いたします。

1. 令和5年度の委員会の開催状況

すでにご報告のとおり、今年度中に開催した委員会は次のとおりである。

- (1) 開催日時：令和5年4月20日（木）17:00～19:00
- (2) 場所：連盟 会議室
- (3) 議題：
 - ①バンドプランの見直しについて
 - ②その他

なお、委員会終了後は、メール等を活用して意見交換や情報共有を行い、バンドプランの見直しやご意見・お問い合わせへの対応を行った。

2. 年度を越えて検討を継続する事項等について

「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」の現告示については、令和5年9月24日をもって廃止とされ、翌25日に新たな告示が施行され、JARLではこの改正をふまえて、総務省の告示に諸外国の運用や世界的な慣習等を加えて、運用モードや形態を中心にわかりやすくまとめたバンドプランを作成して周知啓発にあたった。

今後は、会員からのバンドプランに関するご意見・ご要望を伺いながら、今後、更にバンドプランのブラッシュアップを行っていきたい。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

ワイヤレスネットワーク委員会・令和5年度委員会報告

ワイヤレスネットワーク委員会
委員長 芝山 仁

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第38回 令和5年6月17日(日) 事務局会議室

- 議 題 ・レピータ関係規程・規約等の改正案
・レピータ局へのD-STAR以外の他のデジタル通信方式導入に関する諮問について
・D-STAR レピータ局開設要望の審査と周波数選定
・FM レピータ局開設要望の審査と周波数選定

決定事項

1) レピータ関係規程・規約等の改正案について

令和5年3月22日に法令改正が施行(一部は9月施行)されたことに伴い、JARLのレピータ関係規程・規約等も修正の必要が生じることから、改正案について討議し、理事会に提案することとした。

―第69理事会に第2号議題として上程していただき、関係諸規程を改正した。

2) レピータ局へのD-STAR以外の他のデジタル通信方式導入に関する諮問について

八重洲無線から正式な回答がない以上、どのような対応ができるか判断はできないので、まずは技術的要件の対応について質問し、その後どのような方向にするか考えるべきとの結論に達し、法令改正を踏まえ、質問書を出すこととした。

一年度末ぎりぎりに回答があったので、D-STAR委員会とともに内容を含め検討中。討議後、答申予定。

3) D-STAR・FM レピータ局開設・増設・変更要望の審議結果

承認	DV モード	430MHz 帯	3 波	不承認	1 波
	FM モード	430MHz 帯	1 波	不承認	1 波

第39回 令和5年12月26日(火)～令和6年1月10日(水) 文書メール

議 題 ・D-STAR レピータ局開設・転換要望の審査と周波数選定

・FM レピータ局開設・移設要望の審査と周波数選定

決定事項

1) D-STAR・FM レピータ局開設・増設・変更要望の審議結果

承認	DV モード	430MHz 帯	3 波	不承認	1 波
	FM モード	430MHz 帯	1 波	不承認	2 波
		1200MHz 帯	0 波	不承認	1 波

通年処理件数

移設等	20 件	代表者・緊急連絡者等変更	35 件
機器取替等	11 件		

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

D-STAR 委員会・令和 5 年度委員会報告

D-STAR 委員会
委員長 安田 聖

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第9回 令和5年12月1日(金) 事務局会議室

- 議 題 ・法令改正にともなう仕様書の修正について
・法令改正にともなうシステム改修及び今後の改良について

決定事項

1) 法令改正にともなう仕様書の修正について

法令改正によりレピータ関係諸規程を改正したが、D-STAR 関係の諸規定も改正の必要があるか精査したところ、ガイドラインは変更の要なし。仕様書について同一周波数帯での同時送信は4波までの部分、及び告示の変更等が修正の必要有りであった。そのため、同部分の変更と、グローバルIPを使用しなくても動作する改修に必要な、バケット転送の部分等を合わせて修正することとした。

2) 法令改正にともなうシステム改修及び今後の改良について

今回の改正によりレピータの一体運用は2局までという制限が撤廃された。最初からやみくもに接続を認めると混乱を生じるおそれがあるため、まずは届出のみで5局まで、6局以上は申請により審査という形で規程を改正した。レピータ規程の改正はワイヤレスネットワーク委員会の所管業務であり、当委員会においては、改正に伴い今後の改良を進めていくこととした。また、現在の改修作業はいまだ進行中の作業であり、引き続き基本システムに支障を来たさないよう、改良を進めていくこととしており、引き続き作業中である。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

体験運用推進・ニューカマー支援委員会・令和5年度委員会報告

体験運用推進・ニューカマー支援委員会
委員長 田中 透

当委員会の令和5年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおり
ご報告いたします。

第1回 令和5年12月16日(土) オンライン会議

議 題 ・ 今後の委員会の予定と方針等
・ 体験運用のマニュアルについて

決定事項

1) 今後の委員会の予定と方針等

- ・ 体験運用マニュアルは2月25日開催の第71回理事会に提案できるよう作業を進めることとした。
- ・ 体験運用マニュアルは必要に応じて随時更新することとした。

2) 体験運用のマニュアルについて

- ・ 案に対して各委員から意見を集め、マニュアル案を作成し、理事会へ提出した後にJARL Webに掲載することとした。

第2回 令和6年1月27日(土) オンライン会議

議 題 ・ 体験運用のマニュアルについて

継続事項

- ・ 各委員に意見を求めながら、マニュアル作成作業を進めた。

第3回 令和6年2月8日(木) オンライン会議

議 題 ・ 体験運用のマニュアルについて

決定事項

- ・ 第71回理事会にマニュアル案を提出し、承認が得られた後、Web ページを作

成することとした。

- ・各地方本部、支部の Web ページに体験運用マニュアルのリンクを張っていた
 だくこととした。
- ・メールマガジンと JARL NEWS にて体験運用マニュアルをお知らせすることと
 した。
- ・「体験運用の日」について、CQ 出版社と共催で行えるよう第 71 回理事会に要
 望することとした。

継続事項

- 1) 各委員に意見を求めながら、マニュアル作成作業を進めた。

第 4 回 令和 6 年 3 月 22 日(金) オンライン会議

- 議 題
- ・体験運用マニュアルについて
 - ・体験運用マニュアルの Web ページについて

決定事項

- 1) 体験運用マニュアルについて
 - ・実施者が自分たちのスタイルに合った体験運用マニュアルを選択できるよう、
 複数のマニュアルを掲載することとした。
- 2) その他
 - ・体験運用中のぼりの作成について、理事会に議案書を提出することとした。

継続事項

- 1) 各委員に意見を求めながら、マニュアル作成作業を進めた。
- 2) 学校社团局の助成制度について、規定を改正すべく理事会に提案することと
 した。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

QSL 問題対策委員会・令和 5 年度委員会報告

QSL 問題対策委員会
委員長 安孫子 達

当委員会の令和 5 年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

【Ⅰ】今年度の委員会開催状況

第 1 回 令和 6 年 2 月 23 日(金) オンライン開催

議 題

1. QSL カード転送量の減少策

QSL カードの増加の主な原因として、コンテストの大量発行、非会員宛のカードの到着などが挙げられた。現在のカード滞留量増加に対処するため、現状の公表と枚数削減を呼びかける必要があると考えた。

2. 非会員あての QSL カード減少策

JARL のウェブサイトで QSL カードが転送可能なコールサインリストを公開し、会員と非会員を区別することでカードの発行数を制限する提案があった。また、QR コードの活用により仕分け時におけるビューローの負担を軽減できる可能性があり、ユーザー側にもログ情報の入力短縮や利便性向上にもつながることが議論された。

3. 電子 QSL 制度についての考え方

電子 QSL を活用したアワード申請や広告収入の提案、LotW 等の他サービスとの使い分けについて議論を行った。また、サーバー負担軽減の考え方、カード画像合成の問題点や対策、ユーザーのニーズ調整やフォーマット選定について意見を交換した。引き続き、電子 QSL の効果的な活用方法やシステムの改善については検討すべきであると結論付けた。

第2回 令和6年3月21日(木) オンライン開催

議 題

1. QSL 転送量の減少について

QSL ビューローの転送業務については、出荷・到着・処理枚数のデータを一般公開して到着量の減少を報告し、会員に理解を深めて協力を求める方針とした。QSL カードが転送可能なコールサインリストの一般公開については、jarl.com のメール転送などで悪用される可能性があるため、公開方法について議論を行った。

2. 今後の紙 QSL 転送について

現在の自動仕分け機はコンパクトで手書き文字も処理可能であり、今後の QSL カード仕分け業者に連携するための効果的な選択肢として検討した。また、機械による大分類と精度の必要な仕分けを人手で行うハイブリッドなアプローチが効率的と考えられた。

3. 電子 QSL の考え方

電子 QSL の新しいシステムの開発に際しては、ユーザー数やデータ量に基づき、QSO データ照合やカード印刷機能などの実装範囲を決める必要があるとした。データ照合の必要性については意見が分かれ、実装に際してはユーザーテストやシステムの負荷対策も重要と考えられた。また、モックアップを作成して具体的な仕様を詰めることが進めやすいと提案があった。

【Ⅱ】継続して検討する内容等

QSL ビューローでの工程分析を行い、課題を明確化した上で行動計画を立てることが重要であるとした。QSL ビューローでの同行調査や会員へのデータ公表も検討し、迅速に転送期間を短縮することを目指す。電子 QSL については業者の調査、仕様決定、見積もり依頼等の工程で、システム立ち上げまでにある程度の時間が掛かると考えられた。モックアップを作成し、引き続き具体的な仕様の決定をおこなっていく。

以上